

自作農創設特別措置法案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

○自作農創設特別措置法案
○農地調整法の一部を改正する法律案

委員氏名

- 委員長 男爵稻田昌植君
- 副委員長 子爵北條萬八君
- 公爵島津 忠承君
- 侯爵細川 護立君
- 侯爵中山 輔親君
- 伯爵久松 定武君
- 子爵安藤 信昭君
- 子爵三島 通陽君
- 子爵土屋 尹直君
- 子爵井上 勝英君
- 牧野 英一君
- 松村眞一郎君
- 寺尾 博君
- 男爵内海 勝二君
- 男爵岩村 一木君
- 男爵毛利 元良君
- 男爵多田三郎君
- 赤木 正雄君
- 竹下 豊次君
- 我妻 榮君
- 松尾 國松君
- 菅澤 重雄君
- 松本勝太郎君
- 原田 讓二君
- 飯塚 知信君

昭和二十一年十月七日(月曜日)午前
十時十五分開會

○委員長(男爵稻田昌植君) ソレデハ
是カヲ委員會ヲ開會致シマス、先ヅ最
初ニ農林大臣カラ本會議ヲ提案理由ノ
説明ガアリマシタ以上ニ、モウ少シ御

説明ガアル管デアリマスカラ……
○國務大臣(和田博雄君) 本案ノ提案
ノ理由ニ付キマシテハ、本會議ヲ御説
明致シマシタノデ、内容ノ少シク詳
シク御説明致シタノ思ヒマシマス、第
ニ自作農ノ創設特別措置法案ノ内容ニ
付テ申上ゲマス、是ハ第一番ニ自作
農ノ創設ニ付キマシテハ、二箇年ト云
フ短期間ニ廣汎ニ且公正ニ行フ必要カ
ラ、地主ト小作人間ノ相對賣買ハ認メ
ナイコトニ致シマシテ、其ノ間ニ國家
ガ入リマシテ、自作農ノ創設ニ必要ナ
農地ハ國ガ直接土地ノ所有者カラ強制
的ニ買收ヲ行ヒマシテ、小作人ニ之ヲ
賣渡スト云フコトニ致シマシテ、小
作地ノ二百六十萬町歩ノ中約二百萬
町歩ト云フ小作地、即チ小作地ノ八割
ガ自作農地トナルコトナリマシマス、第
二ニ、買收ノ對象トナリマシマス農地ト
致シマシテハ、不在地主ノ所有シマス
ル小作地ハ從來通り全部ガ對象トナリ
マシテ、在村地主ノ所有シマス小作地
ニ付キマシテハ、前回ノ改革案ニ於キ
マシテハ全國平均五町歩ノ保有ヲ認メ
タノデアリマシマス、今回ハ内地デハ
平均一町歩、北海道デハ平均三町歩ニ
引下ゲマシテ、此ノ面積ヲ超エル小作
地全部ガ買收ノ對象トナツテ居リマ
ス、又自作地ト小作地ト合セマシテ三
町歩以上所有シテ居リマシマスル場合ニ
ハ、一町歩ノ制限ノ外小作地ノ保有ヲ
所有農地全體トシテ三町歩ノ範圍ニ制
限致シマシテ、之ヲ超エマシマスル小作地
ハ買收スルコトト致シタノデゴザイマ

ス、又農地ノ外デモ自作農創設ノ爲ニ
必要デアリマシマス場合ニハ、是ハ採草
地デアリマシマスル宅地ト云フモヤウナ
農業用地、農業用ノ施設ナドモ買收シ
得ルコトニ致シマシタ、而シテ以上ノ
買收ノ實施ニ當リマシテハ、第一ニ自
作地ニ付キマシテハ從來通り原則トシ
テ買收致サナイコトニ致シマシテ、農
業經營ヲ制限スルヤウナ取扱ヒハ致サ
ナイコトト致シタノデアリマシマス、從ヒ
マシテ例ヘバ今自作地デアリマシマス、
自家努力ヲ主トシテ居リマシテ、三町
歩デモ四町歩デモ實際ノ自作經營ヲ自
分ノ自作地ニ付テ致シテ居リマシマス
ニ付キマシテハ、是ハ買收ヲ致サナ
イ、農業ノ經營ト云フモノハ、是ハ原
則トシテハ制限致サナイト云フコトニ
致シテ居リマシマス、尤モ自作地ハ其ノ耕
作ノ業務ガ甚ダ不適正ト場合ニハ、是
ハ三町歩ヲ超エル部分ヲ買收スルコト
ガ出來ルト云フコトニ致シテ居リマ
ス、第二ニ以上ノ述ベマシタ農地ノ範
圍ヲ決メマシマスルニハ、從前ノヤウニ個
人單位ニ依リマシマスルコトハ農村ノ實情
カラ見マシテ、其ノ必要モ認メ得ラレ
マセヌノデ、今回ハ世帯ヲ單位トスル
コトニ致シタノデアリマシマス、第三ニ隣
接市町村ニアリマシマス農地ハ今迄ハ一
律ニ之ヲ在村地主ノ農地トシテ取扱ツ
タノデアリマシマス、今回ハ隣接市町
村ノ中デ社會的ニ又自然的ニ見マシテ
其ノ市町村ノ區域ノ中ニ含ミマシマスル
トガ妥當デアルト認メラレマシマスル地區
ニダケ限定テ致スコトニ致シマシタ、
第四ニ買收致シマシマス農地ニ該當スル

カドウカト云フ決定ニ付キマシテハ、
買收ノ時期ヲ基準トスルノガ原則デア
リマシマス、假裝賣買乃至ハ小作地ノ
不當取上ゲ等不當ノ土地移動ノアリマ
シタ場合ニハ、過去ニ遡リマシテ適用
シ得ルコトト致シタノデアリマシマス、例
ヘバ昨年ノ十一月二十三日迄遡リマシ
テ市町村ノ農地委員會ガ買收計畫ヲ立
テ得ルト云フコトニ致シマシテ、自作
農ニナラウト小作人ノ公正ナ利益
ヲ保護スルコトト致シテ居ルノデアリ
マシマス、第三ニ農地ノ買收價格ハ現行通
リ、田ハ貸賃價格ノ四十倍、畑ハ四十
八倍ノ範圍内ト致シタノデアリマシ
マス、報償金ニ付キマシテハ、農地ノ買
收ヲ受ケマシタ土地所有者ニ對シマシ
テハ、内地平均三町歩、北海道十二町
歩ノ限度トシテ、現行通り田ハ平均三
町歩ニ二百二十圓、畑ハ百三十圓ノ報
償金ヲ交付スルコトト致シテ居ルノデ
アリマシマス、唯買收シマシタ農地ノ對價
ヲ支拂ニ付キマシテハ、本會議デ申上
ゲマシタヤウニ「インフレレション」ノ
促進トナルコトハ極力之ヲ避ケマシマス
ト共ニ地主ノ利益ヲモ考慮致シマシ
テ、一定額ハ現金デ支拂ヒ、殘額
ハ農地證券ノ交付ニ依ルコトト致
シテ居ルノデアリマシマス、又農地ヲ
買受ケマシタ農民ニ對シマシテハ是ハ
可能ノ限度デ一時拂ヲ勸奨致シマシ
テ、其ノ殘額ハ年利三分二厘、三十年
以内ノ年賦償還ヲ爲シ得ル途ヲ設ケテ
居ル次第デアリマシマス、更ニ年賦償還ニ
付キマシテハ將來農產物ノ價格ガドン
ナニ下落スル場合ガアリマシテモ、土

地ヲ購入シマシタ小作農ノ過重ナ負擔
トナリマセヌヤウニ農地ノ主タル年
收獲物ノ價格ノ一定割合ヲ超エナイコ
トト致シマシテ、此ノヤウナ場合ニ付
キマシテハ年賦償還金ノ減免ト云フヤ
ウナ措置ヲ講スルコトト致シテ居リマ
ス、次ニ國ノ買收ト買渡ノ手續デゴザ
イマシマス、是ハ市町村農地委員會ノ樹
立シマシマス農地ノ買收又ハ買渡ノ計畫
ニ依リテ行ハレルコトトナリマシマス、固
ヨリ不當ナ又ハ違法ナ計畫ニ對シマシ
テハ、地主或ハ小作者ハ異議ノ申上ト
カ訴願ト云フコトヲ爲シ得ルト云フコ
トニ致シマシテ、救済ノ途ヲ拓イテ居
ルノデアリマシマス、市町村農地委員會
ノ作成シマシタ買收又ハ買渡ノ計畫ハ
都道府縣農地委員會ノ承認ヲ受ケルコ
トニ致シマシテ、之ニ依ツテ確定スル
ト云フコトニナルノデアリマシマス、計
畫ガ確定致シマシマスルト、地方長官ハ之
ニ基キマシテ農地ヲ強制的ニ買收致シマ
シテ、之ヲ小作農ニ賣渡スト云フコト
ニナツテ居ル譯デアリマシマス、農地ノ賣
渡ニ付キマシテハ、是ハ健全ナ自作農
ヲ創設スルコトト云フコトヲ目途ト致シマ
シテ、買收シタ農地ノ現在ノ小作農ニ
賣渡スコトヲ原則ト致シテ居リマシマ
ス、此ノ際多クノ小作者ニ土地購入ノ
機會ヲ公正ニスルト共ニ、出來ル限リ
耕地ノ集團化ヲ圖ル趣旨ヲ以チマシ
テ、買收計畫ニ於テ十分ノ考慮ヲ拂ヒ
マスノハ勿論、必要ガアリマシレバ、
農地ノ交換分合ヲ強制的ニ行ヒ得ル途
ヲ設ケテ居ル次第デアリマシマス、次ニ
未墾地ノ取得及ビ處分ニ關シマシテ

モ、既墾地ニ準ジマシテ所要ノ處置ヲ講スルコトト致シテ居リマス、其ノ趣旨ハ、本會議ニ於テ御説明申上ゲマシタ通り、國土ヲ出來ルダケ集約ノニ利用致シマシテ、國民ニ生業ノ基礎ヲ與ヘ、又終戦後増加シマシタ農村人口ヲ處理シマシテ、農業ノ發展ヲ期シマス上ニ於キマシテ強力ニ開拓事業ヲ遂行シテ參ルコトガ絕對ニ必要カラデアリマス、農地ノ開發、就中開墾用地ノ所得ニ付キマシテハ、從來農地開發法デアリマス、農地調整法ノ規定ガアルノデゴザイマスガ、取得ノ主體並ニ方法ニ付キマシテ、迅速且公正ナ計畫的ナ取得ヲ期スル上ニ於キマシテハ、不十分ナ點ガ多クイデアリマス、是等ノ點ニ鑑ミマシテ本法ノ規定ヲ置クコト、致シマシタ、サウシテ未墾地ノ買收並ニ賣渡ハ、農地ノ場合ト異リマシテ、都道府縣農地委員會ノ定メル計畫ニ依ツテ行フヲ建前ト致シマシテ、可及ノニ廣イ視野ニ立チマシテ、而モ既耕地ニ於キマス土地制度ノ改革ト相照應シタ適當ナ措置ヲ採ラレコトヲ期待致シタ次第デゴザイマス、唯小面積ノモノニ付キマシテハ、賣渡ノ相手方ハ其ノ地區ノ農業者ガ多ク、農地ノ買收ト賣渡計畫トノ間ニ密接ナ關係ガアル次第モゴザイマス、市町村農地委員會ヲシテ地元ノ實情ニ應ジテ處置セシメルコトト致シマシタ、何レノ場合ニ於キマシテモ、買收ノ對象ハ農地ノ開發ニ供スル未墾地ヲ主ト致シマシテ、所要ノ立木等ニ付テモ之ヲ買收シ得ルコトト致シタノデアリマス、買收シタ未墾地ハ之ヲ開發シマシテ、農地トシテ自作農ニ精進シ得ル見込ノアリマス者ニ賣渡スノヲ原則ト致シテ居リマス、是等ノ手段ハ概ネ農地ノ場合

ト別段ノ差違ハゴザイマセス、次ニ農地調整法中改正法律案ニ付キマシテハ、第一ニ自作農創設特別措置法案ト照應致シマシテ、自作農ノ創設事業ノ實施ニ當リマス農地委員會ト云フモノヲ民主的ニ改組致シマシテ、從來ハ地主自作ト小作ト各、五人ト致シテ居リマシタノヲ、小作農ハ五人、地主ハ三人、自作農ハ二人トシマシテ、小作農ト土地所有者トガ同數ヲ以テ組織スルコトト致シ、兩者ノ利益ガ公正ニ代表サレマシテ、サウシテ自治的ニ運營サレルコトヲ期待致シタノデアリマス、次ニ將來ニ互ツテ農地ノ兼併ヲ防グコトガ矢張り自作農ノ形態ヲ維持シマス上ニ於キマシテ必要デアリマス、又農地利用ノ適正ト云フコトヲ闡リマス爲ニモ必要デアリマス、農地ノ移動ト力潰廢ニ關シマスル統制ヤ小作地ノ取上ノ制限ハ一層是ハ強化スルコトト致シマシテ、又當面ノ自作農創設事業ノ円滑ナ實施ヲ期シマスル必要上、是等ノ制限ハ當分ノ間原則トシテ地方長官ノ許可ヲ受ケルコトヲ要スルコトト云フコトト致シタノデアリマス、次ニ今迄申上ゲマシタ自作農ノ創設ニ關シマスル措置ト相俟チマシテ、殘ル小作關係ノ改善ニ付テモ、是ハ必要ナ措置ヲ講ズルコトガ肝要デアリマス、小作料ハ金納制トナリマシタガ、將來何等カノ事情テ、經濟事情ニ激變ヲ生ジマスヤウナ場合ニ、若シ此ノ小作料ガ公平收穫物ノ價格ノ一定割合ヲ超エルヤウナコトガアリマスナラバ、小作料ノ引下ゲノ請求權ヲ認メルコトト致シマシタシ、又現在日本ノ小作契約ハ、多クハ口頭テ結バレテ居ルノデアリマシテ、全部ガ全部文書ト云フモノニナツテ居

リマセス、ソコデ小作契約ハ文書ニ依リマシテ、其ノ内容ヲ明確ニ致シマシテ、耕作權ノ保護ト強化トヲ圖ルコトト致スノデアリマス、以上ガ兩法案ノ主ナル内容デアリマスガ、何卒御審議ノ上速カニ御可決アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○委員長(男爵稻田昌植君) 是カラ質疑ヲ御願ヒ致シマスガ、其ノ前ニ資料ニ付テ申上ゲマス、資料ハ農林當局カラ大分御手許ニ行ツテ居リマスガ、是以外ニ更ニ御要求ガアリマスナラバ、此ノ際御申出ノ願ヘバ大變結構デアリマス、只今別ニ御氣付ガナイナラバ、後程デモ結構ス

○我妻榮君 資料ヲ一ツ御願シタイ、ソレハ第一次ノ改革ガアツタ後デ、
「メモランダム」方來テ居ルヤウデスガ、其ノ「メモランダム」ニ對シテ當局ガ御返答ガアツタ其ノ「メモランダム」ニ對シテ御願ヒマシマス

○政府委員(山添利作君) 第二次ノ改革ニ付テ「メモランダム」デスカ
○我妻榮君 サウデス、前ノ改革ノ際、議會ノ審議中ニ向フカラ「メモランダム」方來マシテ、ソレニ對シテ、三月一日デスカニ御返答ガアツタ、其ノ司令部トノ間ノ交渉文書、ソレヲ戴キタイデアリマス

○政府委員(山添利作君) 第一次ノ最初ノヤツハ、此ノ印刷物ノ中ニ載ツテ居リマス、此方カラ出シマシタ回答文書ヲ、ソレデハ……

○松尾國松君 今ノ文書ハ、此方カラ答ヘタモノ、向フカラ來タモノ、悉皆御出シ願ヒタイト思フ、ソレニ依ツテ制限サル、モノナラバ、我々ハ如何ニ考ヘテモ駄目ニナル、ソレヲ政府ガ腹ノ中ニ置イタリ何カセズニハツキリス

ル、ソレハドウ云フコトカト云フト、米ノ餘計配給スルト向フカラ輸入シテ呉レスト云フヤウナコトヲ、言フノカ言ハヌノカ知ラスガ、新聞デ我々ハ見ル、アレ位愚ナコトハナイ、政府ヨリモ向フガ能ク知ツテ居ル、我々ノ所ヘ調ベニ來テモ能ク知ツテ居ル、一割足ラヌニ割足ラス、サウ云フコトヲ幾ラ言ツテモ何ニモナラス、サウ云フドラナイ考ヲ持タナイヤウニ、我々ガ審議スル上ニハツキリ出シテ戴キタイト思フ、ソレガ先決問題ト思ヒマス

○政府委員(山添利作君) 今ノ御話ノヤウニ總テ差出シタイト思ヒマスガ、正式ノ文書ニナリマシタモノハ、既ニ此ノ中ニ入ツテ居ルデアリマス

○委員長(男爵稻田昌植君) モウ資料ニ關スル御發言ハゴザイマセスカ

○赤木正雄君 最近十箇年間に於ケル年平均ノ耕地ノ水害面積、冠水流失面積、ソレカラモウ一ツ、農地開發營團ノ開始以來ノ何ガ此處ニアリマスガ、各年毎ノ事業成績及ビ開發シタ後ドレ程入植シテ居ルカ、ソレガ少シモアリマセスカラ、ソレヲ戴キタイ

○子爵井上勝英君 今ノ開發營團ノ同時ニ、私ガ戴キタイノハ入植者ノ脱落者調、入植者入手ノ主食及ビ種子ノ數量、其ノ正規ノ「ルート」ヲ經タモノト、然ラザルモノト區別シテノ調ヲ戴キタイ

○委員長(男爵稻田昌植君) ソレデハ是カラ質疑ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、念ノ爲ニ申上ゲマスガ、今大臣ハ中座シテ居ラレマスガ、豫算總會ニ出テ居ラレルノデ、間モナク戻ラレマス、農政局長其ノ他政府委員ガ居ラレマスカラ、先ツ其ノ方ヘ御質問ヲ願ヘレバ結構ト思ヒマス、御質疑ハ相當多

イト思ヒマスノデ、只今ハ其ノ暇ガゴザイマセヌデシタガ、成ルベクナラバ御質疑御希望ノ方ハ、私迄御通告ヲ豫メ願ツテ置ケバ結構デアリマス

○政府委員(山添利作君) 只今我妻委員カラ「ジー・エッチ・キュー」トノ關係ノ文書ニ付キマシテノ要求ガゴザイマシタ、ソレハ差上ゲテアリマス「諸外國における土地制度改革の實情」ト云フ書類、ソレノ第三編「ポツダム宣言による日本の土地改革に關する諸資料」、是ガ第一次改革ニ出サレテ居リマス、先般ノ臨時議會中ニ出サレタノデアリマス、ソレカラ其ノ次ノ方ニゴザイマスノガ對日理事會ニ於キマシテ論議セラレマシタ其ノ時ノ「聯案並ニ「イギリス」案ト云フノガ載ツテゴザイマス、此ノ「イギリス」案ナルモノガ基礎ニナリマシテ理事會ヲ採擇ニナリ、「マッカーサー」元帥ニ對スル共同監督ト云フコトニナツタノデアリマス、其ノ後ニ、是ハ何レ機會ヲ見マシテ大臣カラ其ノ間ノ經緯ノ説明ガアルカト存ジマスガ、「ジー・エッチ・キュー」ノ方カラ正式ノ指令デハゴザイマセヌガ、指令ノ草案ト云フヤウナモノヲ提示セラレタモノガゴザイマス、是ハ秘密ノモノデゴザイマスノデ、後刻其ノ文書ハ讀ミ上ゲルコトト致シマス

○松尾國松君 チョット伺ヒマスガ、是ハ衆議院ノ方ノ速記録ヲ見タラ分ルカモ知レマセヌガ、大體自作農創設ニ付テ二箇年デ經費ノ總額……サウ細カイコトデナクテモ宜イデスガ、經費ノ總額ハ項目別ガ聽ケルナラ承リタイノデスカ

○政府委員(山添利作君) 是ハ既墾地ニ對スル經費デアリマスガ、二十一年

度ニ於キマシテハ總計致シマシテ、十
一億七千五百萬圓餘デアリマス、其ノ
内大キイモノヲ拾ツテ見マスルト、農
地等買收對價支拂費ガ九億五千萬圓デ
アリマス、ソレカラ農地委員等補助、
是ハ小作關係ノ調整ニ關スル事業
ノ補助デアリマス、或ハ農地對價
ノ支拂並ニ取立費ノ補助デアリマス
カ云フモノヲ含メマシテ二億九千九百萬
圓餘デアリマス、其ノ他ノ事務費デアリ
マスルトカ、普及宣傳費デアリマス
トカ云フ經費ニナツテ居リマス、昭和
二十二年度ノ豫定ト致シマシテハ二十
三億四千一百萬圓、農地等買收對價支
拂費ガ二十二年度ニ於キマシテハ十九
億圓ニナツテ居リマス、ソレカラ農地
委員會等ノ補助、其ノ他先程申述ベマ
シタ經費ニ對照致シマスルモノガ四
億二千二百萬圓餘デアリマス、昭和
二十三年度ニ於テモ二十二年度ト同
様デゴザイマス、此ノ中御説明ヲ要
スルト思ヒマス、ハ農地等買收對價支
拂費デゴザイマスガ、此ノ買收計畫ハ
二箇年間に事業ヲ遂行スルト云フノデ
ゴザイマスルケレドモ、會計年度カラ
申シマスルト三年間に亘ツテ居ル譯デ
ゴザイマス、而シテ其ノ面積ハ第一
年度、即チ二十一年度ニ於キマシテハ
十萬町歩、二十二年度ニ於キマシテハ
百萬町歩、二十三年度ニ於キマシテハ
五十萬町歩、計二百萬町歩ヲ豫定致シ
テ居ルノデアリマス、其ノ買ヒマス農
地ノ對價カラ申シマスルト、是ハ完全
ナ價格デゴザイマスルガ、二十一年度
ニ於キマシテハ三十二億圓、二十二
年度ニ於キマシテハ六十四億圓、二十
三年度ニ於キマシテハ三十二億圓、合計
百二十八億圓デゴザイマス、此ノ中概
ネ三割ハ土地ヲ買ヒマス者カラ現金デ

支拂フコトニ豫定ヲ致シテ居リマス、
從ツテ農地證券支拂ヒマス部分ハ百
二十八億圓ノ七割、即チ九十億圓ヲ豫
定致シテ居ル譯デアリマス、農地關
係、今日ノ關係ニ於キマシテ農地證
券ヲ發行スル豫定ハ此ノ土地對價其ノ
モノダケヲ取ツテ見マスルト九十億圓
デゴザイマス、ソレカラ報獎金デゴザ
イマスルガ、此ノ報獎金ハ、田ニ於キ
マシテハ反當リ二百二十圓、畑ニ於キ
マシテハ百三十圓ノ標準ニ致シテ居リ
マスルガ、是ハ豫定面積ト致シマシテ
ハ概ネ買收面積ノ半バニ相當致シマス
ノ金額ハ二十億三千萬圓デゴザイマ
ス、從ツテ此ノ報獎金ニ相當致シマ
ス、報獎金ヲ含メマシテノ農地證券
發行見込高ハ百十億三千萬圓ト相成
ル譯デアリマス、極ク大體ヲ申上ゲマ
トサウナリマス

○松尾國松君 尙此ノ金額ヲ取扱ヒ、
交付スルニハ、府縣ト市町村トガド
ナ關係ヲ持ツノデスカ
○政府委員(山添利作君) 是ハ農地證
券關係ニ於キマシテハ、其ノ資金ニ付
キマシテハ特別會計ヲ設置スルコト
ニナツテ居リマス、從ツテ土地ノ買
收代金、又其ノ賣拂ノ代金、是等ノ特
別會計ヲ設置シテ其ノ收支ヲ明カナ
ラシメルコトニナツテ居リマス、其
ノ取扱ニ付キマシテハ先ヅ第一ニ地
主ニ對スル土地代價ノ支拂デゴザイ
マスルガ、是ハ只今ノ所、勸業銀行ヲ
使ヒマシテ、勸業銀行ヲ通ジテ農地證
券ノ地主ニ交付スルコトニ致シテ居
マス、ソレカラ土地ヲ買ヒマシテ居
ラ毎年度償還金ヲ取立テ立テ居
スルガ、是ハ土地ヲ買ヒマシテ居
市町村農業會ニ年賦金ヲ納付セシメ、

之ヲ國庫ノ方ニ納メル、斯ウ云フ風ニ
市町村農業會ヲシテ其ノ事務ニ當ラセ
ル豫定ヲ持ツテ居リマス
○松尾國松君 サウスルト府縣ト市町
村トノ關係ハナクテ、農地證券ハドウ
云フ金額ニセラレルカ、ソレモ聽キタ
イノデスカ、例ヘバ其ノ一人ノ金額ガ
一萬圓ニ上ル時ニハ一萬圓ニセラレル
ノカ、或ハドレダケカニ切ラレルカ、
斯ウ云フコトデス、ソレカラ其ノ次ニ
ハ今ノ問題ハ府縣ト市町村ニハ關係ガ
ナイ、關係ナシニヤルカドウカ、斯
ウ云フコトデス、ソレカラ大臣ノ見エ
テ居ル所デ一ツ聽キタイト思フノデス
ガ、土地整理局ヲ置カレルト云フコト
デアリマスガ、其ノ整理局ヲ置カレル
ト云フノハ、整理局ト府縣トノ關係
云フコトヲ聽キタイノデスカ、一ツ事
務ノ二言ヘバ、市町村、府縣トハ關係
ナシニ、ソレハ勸業銀行カラ農地證券
一萬圓トカ千圓トカノモノヲ發行サ
レル、サウスルトソレハ市町村農會ヘ
行ツテ、府縣ト市町村ト云フモノハ關
係ナイコトニナルカドウカ

○政府委員(山添利作君) 私ハ唯金ダ
ケノ取扱ノコトヲ申上ゲタノデアリマ
スガ、是ハ全體ノ買收手續等ニ關係致
スコトデゴザイマスルカラ、其ノ點モ
ソレデハ申上ゲタイト思ヒマス、第一
ニ買收手續ト致シマシテハ、市町村農
地委員會ニ於キマシテ、ドウノ土地ヲ買
收スルカ、又其ノ價格ハドウデア
ルカ、又一切ノコトヲ決定スル譯デア
リマス、市町村農地委員會決定致シマ
スレバ、之ヲ府縣ノ農地委員會ニ提出
致シマシテ、其ノ承認ヲ受ケル譯デ
ゴザイマシテ、ソレニ依リマシテ、初
メテ買收計畫ヲ確定ヲ致ス譯デア
リマス、其ノ時ニドウノ土地ガ買收ニナ
リ、其ノ價格ハ幾ラデア
ルカト云フコトガ
確定ヲ致スノデアリマス、同時ニ其ノ
場合ニ買收計畫ニ於キマシテハ、自
買收計畫ヲ立テマス時ニハ原則的ニ
ハ、同時ニ是ハ賣拂計畫モ立テ居
ル譯デアリマス、一方ニハ買ツテ直
ル譯デアリマス、一方ニハ買ツテ直
上賣渡計畫モ立ツテ居ル、サウ云フ
トニナツテ居ルノデアリマス、ソコ
農地證券ニ關シマシテハ、政府ト致
マシテハ、先ヅ三割ニ相當致シマス
ハ之ヲ全國的ニ封ヲシテ地主ノ方ニ
金支拂ヲヤル、是ハ個人ニ付キマ
テ土地ヲ賣リマシタ代金ノ三割ト云
意味デハナクテ、大體一人ニ付テ四
圓ノ限度トシテ現金支拂ヲ云フ風
ニ考ヘテ居リマス、其ノ残りヲ農地
證券支拂ヲ譯デゴザイマス、其ノ農
證券ノ額面ハ千圓或ハ一萬圓、斯
フ風ニ千圓ヲ最小ト致スコトデア
リマス、買收價格ガ千圓未滿ト云フ
出マシタナラバ、ソレハ現金支拂
イマスガ、利率ヲ三分六厘五毛トシ、
ソレハ公債ノ普通ノ利廻リニ相當
シマス、ソレカラ償還年限ヲ二十四
年ト致シマス、サウシテ元利均等償
還ヲ致シマス、此ノ實際ノ數字ハ千
圓ニ付キマシテハ二十四箇年、六十
圓受取ル、正確ニ申シマスルト六十
圓三十三錢ト云フコトニナリマス
ヤウナ形テ受取ルヤウナコトニナ
リマス、此ノ買收計畫ガ確定致シマ
スルト、府縣知事カラ農地管理局ヲ
通ジマシテ農林省ノ證券發行ノ要
求ガアリ、農林省ハ大藏省ニ提出
スルガ、農林省ハ大藏省ニ提出ス
クカト云フト、詰リ戰時中ニ於テハ
林省ハ、勿論今ノ大臣デハナイケ
レドモ、昭和十八年ノ時カラシテ

ノ關係ト云フモノハウマク行ツテ居ル時モアレバ、ウマク行ツテ居ラヌ時モアル、人間ノヤルコトデウマク行クカドウカハ其ノ時ノ按配デ仕方ガナイガ、併シナガラ農林省ハドウ云フコトヲヤツタカト云フト、自分ノ方ニ費用ヲ持ツテ居ツテ、ソレヲドンドント農業會ニ補助シテ、財政的ニ農林省ハ取ツテシマツタ、政治的ノ言葉ヲ以テ言フト、市町村農會ト云フモノヲ取ツテシマツタ、我々ガ參加シテ居ラナケレバ成立タヌ所ハドウトカ言フノデハナイ、我々ガ農會長ヲヤラナケレバナラヌト云フ所ハ宜イガ、サウデナイ所ハ、市町村モ何モ知らヌ内ニ向フニ補助ヲドンドンヤツテ、大キナ金額ヲ農林省ハ政策的ニヤツテ、我々ガ仕事ヲ見テ居ルト、市町村ハコソツチカラ金ヲヤルカラ市町村長ヲ經ヌデモ宜イ、ダカラ注意ノ足リナイ知事ナンカノ居ル所デハチツトモ知リハシナイ、我々ノ所ハ一々皆我々ヲ通ラナケレバイカヌノデドウモナイガ、サウスルト片方デハ町村カラハ補助モ何モ呉レナイ、農會カラハ金ヲ呉レル、僕ハ此ノ間ノ消息ハ皆知ツテ居ルガ、ソナコトハドウデモ宜イガ、今度モサウ云フコトニナエナイカト思フ、ソレカラ土地管理局長ノ妙ナ提案ガ來テ、アノ男ハ左ダ、知事ハ右ダト、ソナナ戯ケタコトニナルト飛ンデモナイコトニナル、私ハ實ハ地方制度改正ニ付テ最モ其ノ點ヲ具體的ニ論ジテ、サウシテ我々ノ考ノ違ハヌト云フコトヲ速記録ニ殘シテ置イタ、ダカラサウ云フ意味ニ於テドウ云フ考ヲ大臣ハ持ツテ居ラレルカ、斯ウ云フコトヲ聽クノデス、其ノ根本ヲ、長イコトハ要リマセヌ

マ、此ノ農地管理局デアリマスガ、是ハ實ハ二年間ニ此ノ自作農ノ制定ノ仕事ヲヤラナケレバナラナイコトニナルノデアリマス、ソレデスウ云フ仕事ハ、是ハ何トシマシテモ中央カラ末端ニ行キマスル迄本當ニ連絡ガ能ク取レマシテ、ソレデ一貫シテ専心シテヤルト云フコトデアリマセヌト、ナカノ仕事ハ進マナイト思フノデアリマス、日本政府ハ兎ニ角「ボツダム」宣言ヲ受諾致シマシテ、アノ條項ヲ忠實ニ履行スル義務ヲ負ツテ居ル、而モ農地改革ト云フモノニ付テ之ヲ二年ト云フ短期間ニ行ツテ行クト云フコトニナリマスレバ、ドウシテモ本腰ヲ入レテヤラナケレバナラナイノデアリマス、處ガ地方制度ノ今度色々ノ改正ニ依リマシテ、今迄中央集權的デアツタモノガ地方ニ分權サレルコトニナルノデアリマスガ、併シ仕事ニ依リマシテハ現在デモ、例ハ巴國有林ノ管理ハ農林省デ地方ニ營林署ヲ持チマシテ、ソレデ一貫シテ農林大臣ノ指揮監督ノ下ニヤツテ居ル、アレデ仕事ガ十分出來テ居ルノデアリマス、今回モ勿論此ノ農地管理局ト云フモノハサウ云フ趣旨デ出來ルノデアリマシテ、唯色々ノ行政ガバラバラニ地方ニ分化シテ行クト云フ弊害ハ、是ハ斯ウ云フ地方制度ノ改革ノ時ニハ矢張り其ノ一面カラハ避クベキ點ガ十分アルダラウト、斯ウ思ヒマシテ、勿論此ノ農地管理局ノ下ニ置キマスル縣ニ於キマスル農地部ト云フヤウナモノハ、是ハ縣ノ内部ノ實際上ノ農地ヲヤツテ居リマスル人達、サウ云フ人達ヲ以テ構成シテ行ク譯デアリマスガ、此ノ大キナ仕事ヲヤツテ行キマス上ニ於キマシテハ、ドウシテモサウ云フ管理局ト云フモノヲ設ケテ、ソコデ矢張り

リ「ブロック」別ニ其ノ「ブロック」ニ屬シマス所ノ各縣ノ仕事ト云フモノヲ總括シテヤルヤウナ態勢ヲ整ヘマセヌト、ナカノ「急速ニヤル」ト云フコトハ、大キナ仕事デアリマスレバアリマスダケ、是ハ専心矢張り十分眞面目ニ眞摯ナ態度デ行キマセヌト到底出來マセヌノ、其ノ意味デ我々トシテハソレハ地方商工局ト云フヤウナモノガアリマスノデ、サウ云フコトデ色々ナ農地管理局ト云フモノヲ置キマシテ、一貫シテヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○松尾國松君 外様ノ御迷惑ヲ掛ケテハ悪イカラ、要點ダケ一ツ承ツテ置キマスガ、斯ウ云フ土地ハ、例ヘテ申スト別府ノ温泉地デアリマス、或ハ其ノ他各地ニアレニ類シタ温泉地ガアル、其ノ温泉地ハ申上ゲル迄モナク、下ハ温泉デアツテ上ハ田畑ニナツテ居ル、デアルカラソレハ耕地ト認メルカ認メヌカ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレハ上ニハ畑ノヤウナ形ヲ成シテ居ルケレドモ、温泉ノ爲ニ物ハ穫レヌ、斯ウ云フコトデアリマス、併シ畑ト云フ畑ノ名稱ハ畑ト云フ名稱ニナツテ居ルノデスガ、ソレハ温泉地ノ取扱ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ、次ニハ鑛毒地及ビ炭山ノ陥没地デスガ、サウ云フモノハドウ云フ風ニ耕地ト看做サレハカドウカ、斯ウ云フコト、其ノ次ニハ山岳部ノ田ト云フヨリモ畑デスガ、是ハ私申上ゲヌデモ皆サン能ク御承知ダラウト思ヒマスガ、例ヘバ山地ニ於ケル畑ノ畑ハ、收穫ニ於テモ平地ニ於ケル畑ノ三分一ガ普通デアツテ、モット少イ所ハ五分の一、六分の一デアルカラ、ソレヲ所有地ノ面積ト比較スルト、他ノ一町歩ニ對シテ或ハ四町歩デモ五

町歩デモ及バヌト云フ風ナノガアリマスガ、サウ云フモノハドウ云フ風ニ御考ヘニナルカ、ソレカラ次ニハ今買ツテモ賣ツテモ返還セザル地ガアルノデス、例ヘバ一人ノ人ガ地ヲ持ツテ居ツテ、賣ツテモ返還セヌ、自分デ作シヨウト思ツテモ、返スコトハドウモナラヌ、斯ウ云フヤウナコトハドウ云フ風ニ考ヘテ見ルカ、ソレカラ其ノ次ニハ、未墾地ト云フコトガ先程大臣ノ御説明ニモアリマシタガ、意味ハ分ルノデスガ、例ヘバコ、ニ一ツノ山ガアル、畑ガアル、ソレニ繼續シテ居ツテ開墾シ得ル所ト云フヤウナ意味カ、サウ云フヤウナ點ヲ、是ハ事務ノコトカモ知ラヌガ、承リタイ、ソレカラ其ノ次ニハ、先程大臣ノ御話ニ、世界的ニ農家ガ自作農ニナツテモ、農産物ノ價格ノ變動ニ依ツテ困難ヲシナイヤウニ考ヘル、斯ウ云フ御話デアリ、是ハマア結構デアリマス、結構デアリマスガ、一ツノ具體的ナ例ヲ以テ言フト、舊家デ十町歩持ツテ居ル、サウスルトソレレ丁度其ノ家族ノ者ニ三町歩ツツ分ケテヤル、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ、私ハ實ハ其ノ點ハ幾ラカムツカシイ問題デヤト思ツテ居ルハデスガ、言ヒ換ヘテ見マスト、其ノ家ノ持ツテ居ツタモノガ無ウナル爲ニ其ノ家ノ一家ハ維持ガ出來テ行カナイト云フヤウナコトガ起ルトスレバ、サウ云フコトハ法規ヲ一々讀ンダラ分ルデセウガ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ、ドウ云フ措置ガ考ヘラレルモノカ、ソレハ考ヘルコトノ餘地ハナイ、要スルニ三町歩ト云フモノデ決メレバ、ソレ以外ノコトハ、分ケテヤルト云フコトハ、分ケテヤリ得ザル其ノ者ガ耕作人デナイ限りサウ云フモノヲ保有スルコトハ出來ヌ、斯

ウ云フコトニナルノカ、ソレダケチヨツト承リタイ

○政府委員(山濤利作君) 名前ガ畑デアツテ下ニ温泉ガゴザイマス爲ニ作物ガ出來ナイト云フ土地デゴザイマスルガ、是ハ全然出來ナケレバ、無論名前ガ畑デアリマシテモ、此ノ法律ニ於キマシテハ耕作セラレル土地ヲ言フノデアリマスカラ、畑ニ入ラナイ譯デアリマフコトデアラウト思ヒマス、サウ云フ土地ハ、甚ダシク自作農ノ創設ニスル程値打ガナイト云フコトデアリマス、即チ外ニモ此ノ法律ノ中ニハ焼畑、切替畑ト云フヤウナ例ヲ擧ゲテゴザイマスルガ、收穫ノ著シク不定ノ農地ハ、是ハ除クコトニ致シテ居リマス、ソレカラ鑛害地ノ問題デゴザイマスルガ、炭礦ノ爲ニ土地ガ陥没シテ居ル、又陥没ノ處ガアル、或ハ其ノ他ノ鑛害ヲ受ケテ居ル土地、是等ノモノモ自作農ノ對象ニスルノニハ値打ノナイ土地デゴザイマスルカラ、是モ對象ニハ致シマセヌ、ソレカラ山ノ谷合ニゴザイマスル等デゴザイマスルガ、是ハ御話ノ通りニ、日常リモ悪ク、又水モ冷イト云フヤウナ關係デ、平地ニゴザイマスルモノトハ相當收穫高ハ落ちル譯デアリマスガ、併シ是ハ普通ノ田ナリ又畑ヲ成シテ居ルノデゴザイマスルカラ、此ノ法律ノ對象ニナリマス、同時ニ又サウ云フモノハ地價モ低イ譯デアリマス、ソレカラ地主ノ方カラ土地ヲ返還シテ貰ヒタイト云フ場合ニ、小作者ノ方デ返サナイ、サウ云フ場合ノ措置ニ關スル御質問ガゴザイマシタガ、此ノ土地ノ返還ト申シマスカ、取上ト申シマスカ、是ハ戦ガ濟ミマシテカラ方々

ニ起ツテ居リマス、非常ニ重要ナ且深刻
ナ問題デゴザイマス、如何ナル場合ニ
小作者ノ方カラ土地ヲ返サセルコトガ
出來ルカト云フハ、農地調整法ノ第
九條ニ規定ガ致シテゴザイマス、農地
調整法ノ第九條ニ「農地ノ貸與人ハ、即
チ地主ノ方ハ、貸借人ガ有怨スベキ
事情ナキニ拘ラズ小作者ノ滞納スル等
ノ信義ニ反シタル行爲ナキ限り貸借
ノ解除」是ハ新ラシク入レタラシメ
ザイマスガ「解除者ハ解約ヲ爲シ又ハ
更新ヲ拒ムコトヲ得ズ」、原則ニハ
小作者ノ方ニ於キマシテ特別ニ信義ニ
反スル行爲ガゴザイマセズ限り、土地
ノ返還請求ハ出來ナイノデアリマス、
唯但書ニ於キマシテ、土地ノ使用シタ
目ノ變更スル、ソレガ學校敷地ニナ
ラザルヲ得ヌト云フヤウナ場合、又ハ
貸與人ノ自作ヲ相當トスル場合……問
題ニ現ニナツテ居リマス、此ノ場合
ガ大部分ト存ジマスガ、「貸與人ノ自
作ヲ相當トスル場合其ノ他正當ノ事由
アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」、此ノ自
作ヲ相當トスル場合ト云フノハ如何ナ
ル場合ヲ言フノカ、之ニ付キマシテ
ハ、斯ウ云フ解釋ガ確立致サレテ居ル
ノデアリマス、即チ小作者ガ作ツテ居
ルヨリモ地主ガ耕作シタ方ガ能率ガ上
ル、地主ニ設備モアリ又家族努力モア
リ、自作ニシタ方ガ寧ろ全體カラ見マ
シテ生産ガ上ル、又小作者ヲ返シマス
小作者ノ側カラ見マシテモ、其ノ事ノ
爲ニ生活ニ困難ヲ來ス等ノ困ツタ事情
ガ起ラナイ、斯ウ云フ場合ニ限ツテ土
地ノ取上ゲト申シマスカ、返還ガ認メ
ラレル譯デゴザイマス、此ノ争ヒノア
リマスヤウナ場合、又争ヒガナクテ
モ、斯様ナ土地ノ返還ニ付キマシテ
ハ、農地委員會ノ承認ヲ受ケナケレバ

ナラヌコトニナツテ居リマス、同ジク
第九條ノ規定デゴザイマスガ、ソコデ
農地委員會ニ於キマシテ是等ノ事情ヲ
ソレレ、具體的ノ事情ニ即シテ公正ニ
又客觀的ノ判定ヲ致ス譯デゴザイマ
スガ、地主ノ方カラ返シテケレ、又小作
者ノ方カラ返サヌトスウ云フ風ニ争ヒ
ガナツテ居リマス場合ハ、是ハ農地
委員會ガ判定ヲ致ス譯デゴザイマス、
マアサウ云フコトデゴザイマシテ、農
地委員會ノ判定、又其ノ斡旋ト云フ
ニ依リマシテ處理ヲシテ行キマスコト
ヲ原則ト致シテ居リマス
○松尾國松君 マダアリマスケレド
モ、大臣モ御急ギデセウ、外ニ御迷惑
ヲ掛ケマスカラ、私ハ是デ止メマス
○政府委員(山添利作君) 尙ホ未墾地
ノ問題等ガゴザイマシタガ……
○松尾國松君 大臣ノ暇ガナクテ、外
ノ人ニ御迷惑ヲ掛ケルカラ私ハ後デ、
別ノ人ニ願ヒマス
○委員(男爵稻田昌植君) チヨット
速記ヲ止メテ
午前十一時十九分速記中止
午前十一時四十九分速記開始
○委員(男爵稻田昌植君) 速記ヲ始
メテ
○子爵三島通陽君 此ノ法律ヲザツト
拜見シタ所デアリマスケレドモ、私ハ
根本的ニ此ノ法律ハ大變ニ時宜ヲ得タ
モノデアルト思ヒマス、色々ムツカシ
イ點モアラウト思ヒマスケレドモ、内
外ノ客觀情勢カラ考ヘマシテモ、誠ニ
適當ナコトデアツテ、又相當色々ナ意
見モアリマスカ、私ハ中道ヲ歩イテ居
ルモノダト思ヒマス、唯併シ之ヲ實行
セラレルニ當リマシテ、一ツ一番考ヘ
ナケレバナラナイ問題ガアルノデハチ

イカト思ヒマスノデ、其ノ點ヲ伺ヒマ
ス、ソレハドウモ地主ト云フト、大體
悪イ者ト云フヤウニ決メテ掛ラレテ居
ル今日デヤナイカト思ヒマス、色々ナ
言葉ノ中ニモ農民ヲ地主ノ桎梏カラ解
放スルトカ、色々サウ云フヤウナコト
ヲ盛ニ言ハレ、ソレデアリマスケレド
モ、勿論此ノ言葉ヲ全面的ニ私ハ否定
ハ致シマセズ、斯ウ云フ言葉モ相當使
ハレテ宜イコトモアラウト思ヒマスケ
レドモ、併シ地主全般ガ全部農民ヲ挫
ル、食ツテ居ル、搾取ヲシテ來タノミト
ハ言ハレヌコトガ多クアラウト思ヒマ
ス、ソコデ此ノ法律ガ出マシタ時ニサ
ウ云ツタ方面カラ色々々ムツカシイ問
題ガアリハシナイカ、少クトモ此ノ法
律ヲ活カシテ行ク場合ノ政府ノ御決心
ト云フモノヲ私ハ承リタイト思フノデ
アリマス、ト云フノハ地主デ例ヘバ相
當ノ此處ニ土地ヲ持ツテ居ル、其ノ小
作料ト云フモノヲ半分以上モ農地改良
トカ、其ノ他色々々農民ノ指導、小作者
ノ指導ト云フコトニ當ツテ居ル地主ガ
澤山アルト思フ、サウ云フヤウナ場合
ニ、ソレ等ノ耕作者ハ小サイ地主ニナ
ツテ指導者ヲ失フト云フコトニナツテ
シマフト思フノデス、サウ云ツタコト
ニ付テノ何カ御配慮ガアリマスカ、ソ
レヲ先ツ承リタイト思ヒマス、私ガ個
人のニ知ツテ居リマス地主デモ、自分
ノ所ニ上ツテ來ル小作料ノ半分ハ農地
改良ニ當テテ居ルト云フ人モアリマ
ス、又或ハ農産物ト云フモノハチヨツ
ト加工スレバ非常ニ高ク賣レマスカ
ラ、サウ云フ農産加工ノ色々々設備ト
云フヤウナモノヲヤツテ、サウシテ指
導シテ行クト云フヤウナ地主ガ相當是
亦多イト思ヒマス、是等ハ今直グニ今
ノ農民ノ諸君ガ共同經營、或ハ何カ共

同ト云フヤウナ、サウ云ツタ設備ヲス
ルト云フコトハ、非常ニ望マシイコトデ
アリマスケレドモ、是ハナカノ一朝
一夕ニ行カナイノデハナイカ、果シテ
ソレニハ相當政府ガ御世話ヲ燒イテオ
ヤリニハナケレバ、ナラナイノデハナ
イカ、勿論彼等ガ自主的ニサウ云フコ
トヲヤルコトハ望マシイコトデアリマ
スケレドモ、或ハソレハ民主的カモ知
レナイケレドモ、此ノ際サウ云フ人達
ガ好キ指導者ヲ失ツタ場合ニ、何カ政
府トシテハ此ノ法律ヲ活カシテ行ク上
ニ於テ、此ノ法律ノ精神ヲ活カシテ行
クニ於テ、相當ノ御考慮ガ要ルノデハ
ナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、
其ノ點ハ如何デアリマセウカ、農林大
臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○國務大臣(和田博雄君) 非常ニ御尤
モ御尋デアリマシテ、私ガ此ノ農地
ノ制度ノ改革ノ案ヲ出シマスレ付キ
マシテハ、例ヘバ地主ガドウデアルト
カ、小作ガドウデアルトカ、個々ノ何
ニ提ハレテ考ヘテ居ル譯デアリマス
、唯日本ノ土地ノ所有ナリ、分配ナ
ス、其ノ利用ナリト云フモノガ最モ合
理的ニ、サウシテ全體ノ農業ノ生産率
ガ擧リマスルヤウニ致スト云フ建前ヲ
堅持致シテ居ルノデアリマス、御話ノ
ヤウニ今同ノ此ノ土地ノ制度ノ改正ニ
依リマシテ、マア大キナ地主ト云フ
モノハ、事實上ナクハナツテ行ク譯デ
アリマスカ、併シ此ノ農地ニ於ケ
ル譯ハ從來優良ナ地主ノ方々ガ爲
シテ來タ土地ノ改良デアリマスケレ
カ、或ハ其ノ他色々々指導面ト云フ
モノヲ是ハ正當ニ表示サレテ行クベキ
ダト、私ハマア考ヘテ居リマス、將來
地主ノ何トシマシテハ、是ハ其ノ人達
ガ大切ナ地主デアリマシテ、十分實質

的ナ德望ノアル人デアリ、又知識人デ
アリマスルナラバ、サウ云フ面ニ於テ
村ノ謂ハバ成ル程自分ハ元ノヤウナ地
主デハナイカ、サウ云フ一ツノ力トシ
テノ指導力ト云フモノハ又持つテ戴キ
タイシ、又自然持つタラウト思ヒマ
ス、御話ノヤウナ將來ノ農村ハ直チニ
個々ノ農家ガ自作農ニナリマシテモ、
共同組合ト云フモノノ發展ニハ色々々
マダ條件ガ備ハル必要ガアリマスル
ノデ、地主ガ例ヘバ農村工業デアリマ
スカ、或ハ又ソレ等ノ工業ニ於ケル新
シイ土地ノ開發ヲシテ、自分デ新シイ
農業經營ヲヤツテ行キマスルトカ、サ
ウ云フ色々々面ニ於テ矢張り從來ノ
經驗ト、ソレカラ財力ト云ヒマスガ、
力ヲ使ツテ戴ク分野ハ私相當アルノデ
ヤナイカト思ヒマス、サウ云フヤウナ
點ニ付テ是非一ツ具體的ナ色々々個々
ノ村々ニ依ツテソレレ、違フデアリマ
セウガ、政府ト致シマシテハ、サウ云
ツタ面ニ付テノ施設ヲ是ハ是非ヤツテ
行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、農村ノ所謂變化ト云フコトヲ考ヘ
テ見マシテモ、サウ云フ面ヲ中心トシ
テノ地主ノ將來ノ行キ方、一ツノ新シ
イ構成ト云ヒマスカ、サウ云フ道ハ當
然考ヘラレルノデヤナイカト考ヘテ居
ル次第デアリマス
○子爵三島通陽君 農林大臣ノ御答辯
デ大體満足致シマシタガ、又農林大臣
ノ初ノ御言葉ニモアリマシタヤウニ、
私共ハ決シテ現在農林當局ガ政府ハサ
ウ云フ考ヲ私ガ先程農民ヲ地主ノ桎梏
カラ解放スルト云フヤウナ言葉、サウ
云ツタ言葉ヲ政府ノ方々ガ今持つテ居
ラル、時ニ、又此ノ法律ノ精神ガサウ云
フ精神カラ出テ居ルノデハナイカト仰
セラレ、バ、ソレハモウ其ノ通りダト

思ヒマス、デアリマスカラ私モ大體中道ヲ行ツテ居ルノデアルト云フコトヲ申シテ、此ノ法律ニモ實意ヲ表シタノデアリマスケレドモ、今御話ノヤウニ段々伺ツテ居リマス、ソレハ其ノ在村ノ地主ノサウ云フ指導者ト云フモノハ、サウ云ツタヤウナ形デ残ルダラウト思ヒマスガ、必ズシモ在村デナクテモサウ云ツタモノハ相當アルノデ、是ハサウ云フ縁ガ切レテシマフト思フ、デスカラ何カ矢張り政府ノ強力サウ云ツタ指導ガ要ルノデハナカラウカ、餘リサウ云フコトヲ嫌フ聲モ出テ導スルト云フコトハ民主的デナイト云ツテ、又サウ云フコトヲ嫌フ聲モ出テ來ルノデアラウト思ヒマスケレドモ、併シ私ハサウスルコトガ農民ノ生活ヲ向上サセ、此ノ法律ノ精神ヲ活カシテ行ク上ニ必要ダト思ヒマスノデ、何カ其ノ協同組合等ニ付テ、或ハ又教育等ニ付テモ、ドウモ又少シ話ガ外レマシタケレドモ、今迄ノ農業學校トカ、農學校トカ、或ハ青年學校トカト云フモノノミデハ私ハ満足出來ナイノデ、又御考ガアルカナイカト云フ具體案ヲ伺ツタノデスガ、何カゴザイマシタラ、一ツ伺ヒタイト思ヒマス。

○國務大臣和田博雄君 農業ノ此ノ從來ノ農業教育等ダケハ満足デハナイト實ハ私ハ思ツテ居リマス、殊ニ今度ノヤウニ農地ノ改革ガ行ハレマシテ、マア相當ノ中小ノ自作農ガ村ノ信用ノ主流ヲ成シテ行キマスルト、一番望マシイコトハ、ソレ等ノ農業ノ經營ガ非常ニ合理化サレマシテ、其ノ農業ノ經營ダケデ或程度ノ教育ガ出來ルト云フダケノ農民ガ力ヲ持ツト云フコトハ一番望マシイト思フノデアリマス、併シソレヲヤリマスルノニ色々ナ施設ヲ政府トシテモヤラナケレバナリマセズ、又農業經營其ノモノノ改善ニ付テハ、各個人ノ素質トカ能力トカガ加ハツテ來マスカラ、一概ニサウ云ツタ全體ノ水準ガ上ルト云フコトハ望マレマセヌガ、我々トシマシテハ矢張り村ノ青年ガ十分一般ノ教育ヲ高メ得ルヤウナ機會ヲ出來ルダケ（ヘルコトヲシテ見タラドウカト斯ウ思ツテ居リマス、私ハ一番最近考ヘテ、卑近ナ所カラ出來レバ矢張りヤツテ行キタイノハ、矢張り「ラジオ」ヲ農民ニ一ツツ持タスト云フコトト、共同作業場ガ幸ヒ各農村ニハアリマスノデ、出來マシレバ共同作業場ニ一ツ圖書館デモ置イテ、丁度文部省ガ公民館ヲヤツテ居ラレマスヤウニ、私ハ、云フノハ非常ニ宜イト思フノデ、ソレヲ働ク場所ニ結付ケテ、丁度農村恐慌ノ時ニ共同作業場ヲ中心ニシテ村ヲドウシタラ更生出來ルカト云フノデ、村ノ本當ノ指導者ガ集リ、又村ノ若イ青年ガ集ツテヤリマシタヤウナ、其ノ場所ヲ使ツテ、ソコデ相互ニ研鑽シ得ルヤウナ機會ヲ與ヘテ行ツタラドウカト思ヒマスノト、モウ一ツハ、是ハ私共ノ方デ考ヘテ居リマスルノハ、四國ナラ四國ニ一ツノ綜合試驗所ヲ作ルトシマス、其ノ試驗所ニ矢張り研修所ヲ同時ニ設ケマシテ、農村ノ子弟ガ働ク其ノ暇ニ出テ來テ、而シテ大シタ負擔ヲ負ハズニ優秀ナ教育ヲ身ニ着ケル機會ヲ農業ダケデナシニ與ヘテ行ツタラドウカ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、幸ヒ我々ノ方トシマシテハ、今度農業綜合研究所トカ開拓研究所ト云フモノガ出來タ譯デアリマスルノデ、サウ云フモノニ付テハ、是ハ今迄ノ地主ノ方々、或ハ其ノ他人々ノ中デ矢張り立派

ナ人達ハ、何等カノ形デ御協力ヲ願フテ、ソレデ實質的ナ農村ノ教育ト云ヒマスカ、教育ヲ高メテ行クト云フコトヲ一ツヤツテ見タラドウカ、斯ウ考ヘテ居リマス。

○委員長(男爵稻田昌植君) 休憩ヲ致シマス、午後二時半カテ再開ヲ致シマス、申シマスノハ、午後一時半カラ二時半迄財政ニ關スル政府ノ御説明ガアルヤウデアリマスルカラ、其ノ方ニ出席ヲナシマス御希望ノ方ガアルヲ致シマス、尙モウ一ツ申上ゲマスコトハ、或ハ會期ガ四日延長ニナルカモ知レマセヌカラ、延長ノ詔書ガ出ル出ナイニ拘ラズ、二時半ニ御集リヲ願フテ置キマス、休憩ヲ致シマス。

午後二時五十分開會

○委員長(男爵稻田昌植君) ソレデハ午前ニ引續キ委員會ヲ續行致シマス、井上子爵

○子爵井上勝英君 チョット質問サセテ戴キマス、農地調整法ト云ヒマスカ、農地改革ノ意義或ハ事情ハ私了解出來ルノデゴザイマスケレドモ、之ニ關聯シテチヨット分ラナイ問題ガアルノデ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、土地問題ニ關聯シテ、農村ノ民主化トカ、社會化トカ、或ハ電化トカ、科學的經營ノ問題ガ必然的ニ解決サレルト云フ風ニドウモ考ヘラレナイ、勿論是ハ衆議院ナンカデモ色々議論サレテ居ルコトト思フノデゴザイマスケレドモ、電力ノ問題ヲ考ヘテ見テモ、實際ニ於テ是ガ窮屈トナツテ來テ居リマスシ、農具ダトカ機械ヤ肥料モ極メテ不十分デ、特ニ

農具ハ質ガ悪クテ、日本ノ農業技術ニ合致シタ改善ガ殆ド行ハレテ居ナイト、言ツテモ宜イノデハナイカ、規格ノ統一、優秀製品ノ完成、斯ウ云フコトハドウモ一朝一夕ニハ求メラレナイ、是ハ過去ノ歴史ガ示シテ居ルノデ、例ヘバ足踏脱穀機ノ改良ナドモ二十年モ掛カツテヤツト今日ノヤウナモノガ出來、其ノ間ニ農民ガ蒙ツタ經濟的負擔ト云フモノハ非常ニ莫大ナモノデ、是ガ今日農村ノ機械化トカ色々ナコトヲ言ハレテ居ル場合ニ今後又矢張り非常ニ農民ニ引ツ掛カツテ來ル問題デヤナイカト云フ風ニ考ヘラレマス、ソレカラ農業技術カラ言ヘバ、農民ノ水準ハ低イシ、多角的經營ト云フモノハ、ナカナカ十分ニ行カナイシ、有畜農業ニシテモ、家畜ノ飼育ノ經驗ガ乏シクテ、之ノ指導トカ育成ガ誠ニ至ラナイ、サウ云フ状態デアルト思ヒマス、殊ニ有畜農業ハ必ズ加工ヲヤラナケレバイケナイト云フノデスケレドモ、此ノ加工方面ニ於ケル技術ダトカ或ハ機械ダトカ云フヤウナコトニ、ハツキリシタ見透シガ付カナイ状態デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、今度立案サレテ居ルヤウニ伺ツテ居リマスアノ協同組合ニシテ見テモ、從來購買販賣組合ト云フヤウナモノガアツタノデアリマスケレドモ、生産加工ト云フヤウナ恆久ナ社會的結合組織ト云フヤウナモノガ未發達ノ日本デハ協同組合ト云フヤウナモノガ出來テモ、一體ドレダケノ發達ガ行ハレルカト云フコトハ、疑問ニ思フノデアリマス、何レニセヨ一ツノ仕事ヲ完成スルノニハ、各方面ニ互ツテノ綜合的研究ガ必要デ、ソレニ伴フ農民ノ生活文化ナリ技術文化ガ十分ニ發達シナケレバ、農村社會ノ民主

化トカ經營ノ多角化ト云フヤウナコトハ期待出來ナイノデ、相當年月ヲ要スルト思フノデアリマス、殊ニ一朝、此ノヤリ方ナンカヲ誤リマススト、政府ノ意圖サレテ居ル所ト違フ方向ヘ行クノデヤナイカト云フ疑問ガアル、殊ニ農村ノ人口ガ現在歸農ダトカ其ノ他ノ關係デ、所謂從來ノ農村地帯トカ或ハ開拓サレテ居ル村デモ、急速ニ増加シテ來テ、土地ノ細分化、經營ノ零細化ト云フコトハ、可ナリ進んで來テ居ルト私ハ見テ居リマス、斯ウ云フ方面デ生ジタ貧農ダトカ飯米百姓、或ハ半失業状態ノ農業勞働者ト云フモノガ相當急激ニ増大シテ、今後ノ重大ナ農村問題ヲ惹キ起スト思フノデアリマスケレドモ、更ニ是等ノ人々ハ、都市工業ガ敗戦ノ結果急激ニ殆ド弱体化シテ、農業外收入ト云フモノガ激減スルノデ、益々困窮化スル傾向ニアルト思ヒマスガ、從ツテ土地問題ハ是等ノ人々ニ取ツテ更ニ新シイ問題ヲ生ジテ行クノデヤナイカト云フ風ニ想像サレルノデス、ソレデ以上ノヤウナコトカラ言ツテモ、結局土地問題ノ解決ト他ノ諸問題ノ解決ニハ、相當ノ「ギャツ」ガ出來ルノデヤナイカト云フ風ニ思フノデス、何故斯ウ云フ質問ヲ出スカト云フト、ドウモ今日何カ土地問題ヲ解決スレバ、急ニ世ノ中ガ明ルクナルト云フヤウナ議論ガ、色々ナ雜誌ダノ何ダノニチヨット見ラレルヤウナナンデ、私共サウ云フコトガナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘルノデ、此ノ點ヲ特ニ伺ツテ見タイト思ヒマス、ソレデ又之ニ付テ具體的ナ方策トシテ、綜合農業研究所トカ、或ハ開拓研究所ト云フモノガ新聞デ發表シテアルノデアリマスケレドモ、私ハサウ云フ點ニ付テハ、是等

ガマダ研究所長モ決ツテ居リマセヌ
シ、研究「テ」モ決ツテ居ナイノ
デ、之ヲ云々スルト云フコトハ言ヘナ
イノデスケレドモ、ドウモ新聞見タ
ダケデハ、餘リ今言ツタヤウナ方面ガヤ
ラレナイノデ、寧ろ農村ノ内部ニ問題
ガアルノデ、殊ニ現在農民組合トカ、
ソレカラモウ既ニ現レテ來テ居ル農産
物ノ下落トカ、色々ノ問題ガ次々ニ出
テ來テ、農村ガ可ナリ複雑怪奇ニナツ
テ來テ居ルノデ、斯ウ云フ時代ニ一體
ドウ云フ風ニ具體的ニヤラレテ行クト
云フヤウナ點ヲ伺ツテ見タイト思ヒ
マス

○國務大臣(和田博雄君) 此ノ農村ノ

問題ノ解決デアリマスガ、私共モ此ノ
例ノ土地問題ヲ解決シタダケデハ農
村ノ問題ガ直ニ解決出來ル、全部
ガ全部「オーケー」ニナルトハ實ハ毛
頭思ツテ居ナイノデアリマス、唯併
シ斯ウ云フヤウニ考ヲ進メテ行キ
タイノデアリマシテ、ト云フノハ、農
業ガ營マレテ居ルト其ノ農業ガ營マ
レテ居ルノハ、或一定ノ社會的ナ、
又經濟的ナ一ツノ條件ノ下ニ農業ト
云フモノハ營マレテ居ル、サウスル
ト其ノ社會的ナ、經濟的ナ條件ノ中
デ一番農業ノ經營ト云ヒマスガ、生
産ニ付テ基本的ナモノハ、ドウシテモ
ハ農地ノ所有デアリ、分配デアルト云
フモノノ關係デラウト思ヒマス、此ノ
點ヲ其ノ儘ニシテ置イテ、サウシテ色
色ノ農村ノ電化デアルトカ、農村ノ工
業化デアルトカ云フ色々ノコトヲヤリ
マシテモ、是ハ從來ソレヲヤツテ來
テ、ナカク、效果ノ擧ゲナカクコト
ナンデス、資材其ノ他ガ相當豐富ナ時
期ニ於テ、尙且ソレガ出來ナカク、
處ガ問題ハ、其ノ條件ヲ變ヘテ、實際

上耕作スル者ガ一番大キナ農業上ノ資
本ノ主ナモノデアアル土地ヲ持つテ、サ
ウシテ其ノ土地カラ上ル收益ヲモウ一
遍農業ヘ再交付シ易イヤウナ條件ヲ作
ツタ其ノ上デ、其ノ地盤ノ上ニ、例ヘ
バ農村ノ工業デアルトカ、電化デア
ルトカ、色々ナコトヲヤルト云フコトニ
ナリマスルト、問題ハ又自ツト別ダラ
ウト思フノデアリマシテ、今ノサウ云
フ點ニ付テノ難點ハ、是ハ日本ノ經濟
ガ戰爭デ謂ハバ非常ニ縮少シテシマツ
テ、サウシテ農村ノ電化ヲ行フトカ、
或ハ農村方面ニ於ケル工業化ヲ行フト
カ云フコトニ付テノ、工業生産力ト云
フモノガ非常ニ低クナツタ爲ニ來ル隘
路ハ其處ニアル譯デアリマスガ、其ノ
條件ガ滿タサレバ、是ハ元トハ違ツ
タ地盤ニ於テ、サウ云ツタ工業化ナリ
電化ナリガ振興シ得ルコトニナルト、
斯ウ思ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ
點ニナツテ來ルト、是ハ農地ノ改革其
ノモノノ問題デハナクシテ、日本ノ農
地改革ヲ行ツタソレヲ地盤トシテ、農
業ヲドウ云フ方向ヘ持つテ行クカト云
フ問題、謂ハバ農業ノ固有ノ領域ヨリ
モ、外域ヲ成ス問題メ方ニ私ハナツテ
來ルト思ヒマス、其ノ點ニナツテ來ル
ト、實ハ日本ノ是ハ工業力ノ回復ト云
フモノヲ一時モ早クヤツテ行クト云フ
コト以外ニハ方法ハアリマセヌ、其ノ
工業ノ回復ヲ圖ルト同時ニ、農村側ト
シテハ、是、農機具ノ問題ニシテモ、
電化ノ問題ニシマシテモ、從來ノヤウ
ニ唯外部カラソレヲ迫ラレテ取入レル
ト云フ形デナクシテ、農村ノ内部
カラソレ等ノ問題ヲ、ソレ等ノ事柄ヲ
取入レテ、サウシテ實際上今度ハ自主
的ナ地盤ニ立ツテ行クト、斯ウ云フ方

ニ進メテ行カナケレバナラヌト思ヒ

マス、又ソレデナケレバ地ニ著イタコ
トガ出來ナイト思ヒマス、唯其ノ時ニ
國家ガドウ云フ役割ヲヤルカト云フコ
トハ問題デアリマスガ、國家ガヤル時
ニ、民間デヤル時ニ、民間デハヤレナ
イ一應ノ誘ヒ水ヲスルトカ、或程度ノ
資本ヲ投下スルト云フ方向ヲハツキリ
スルトカ、サウ云フ大キナ事柄ハヤツ
タラ宜イト思ヒマス、ソレデ今度ノ協
同組合法ナドデ考ヘマシタノハ、從來
ノヤウニ唯産業組合ノヤウナ流通ノ方
面ノ中間ノ商人ヲ排除スルト云フヤウ
ナ形ノ仕事ダケデナク、末端ノ農業協
同組合ハ、是、農業ノ生産ノ面ニ於テ
共同ニ色々ナコトヲヤツテ行ク、例ヘ
バ水ノ問題ヲ解決スルトカ、或ハ共同
ノ加工ヲスルトカ、共同ノ作業ヲスル
トカ云フヤウナ意味デ、御互ニ個々
ノ獨立ノ自作農場、自作デハアルガ、
ソレ等ノ者ガ協同スルコトニ依ツテ初
メテ村ナラ村ノ問題ガ解決出來ルト云
フヤウナ、サウ云フ生産面ノコトヲ主
トシテヤルト云フコトヲ中心ニシテ、
實ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、勿論此
ノ農地制度ノ改革ト云フノハ、是ハ農
業ノ改革、農業ノ生産力ノ發達ヲ圖リ
マスル爲メ一ツノ基本的ナ條件デハア
リマスガ、是デ十分ノ條件ダトハ我々ハ
毛頭考ヘテ居ナイノデアリマス、此ノ
農地制度ノ改革ヲ行ツタアト、此ノ改
革サレタ農地關係ノ下デ矢張り耕作ヲ
シ、ソレカラ經營ヲシテ行クノハ、是
ハ現在ノ處、農民デアリマスルカラ、
其ノ農民ノ智力ヲ増進シタリ、或ハ經
營ノ指導ヲシタリスルト云フヤウナ面
ハ、是ハ農民諸君ノ自分ノ努力ニモ懸
ツテ居ルコトデアリシ、又ソレ等ノ點

ニ付テハ政府ノ施設ニモ懸ツテ居ル點
ダラウト思ツテ居ルノデアリマス、唯
日本ノ人口問題ノ壓力カラ起ツテ來ル
色々ノ經濟ノ關係ハ、是ハ唯單ニ一
ノ法令ダケヲ以テハ、實ハ解決ガ出來
ナイノデアツテ、人口問題其ノモノヲ
解決シマス爲ニハデスネ、是ハドウシ
タツテ日本ノ農業ダケデナクテ、外
工業、色々全體ノ經濟力ノ發達ト云
フコトデ、基本的ニ解決スルヨリ
外ニハ、是ハ理論的ニ言ツテモサ
ウナラザルヲ得ナイト思ヒマス、
唯農村ノ方デハ今外ノ産業ガ餘リ
再開シテ居ナイノデ、此ノ農業ノ
方面ガ恰モサウ云ツタ失業ノ者ナリ、
復員者ナリノ、謂ハバゴミ捨場ミタ
イニナツテ來ルト云フコトダケハ、
私ハ出來ルダケ矢張り避ケナキヤナラ
スト思ツテ居ルノデアツテ、例ヘバ過
小農ノ問題ニシマシテモ、農地改革ガ
行ハレテモ過小農ハ、殘ルト思フ、殘
ル過小農ハドウシテモソレ等ノ人達ニ
出來ルダケ外ノ部面ノ労働ノ機會ヲ與
ヘルト云フコトハ考ヘナケレバナラヌ
ト思フノデアリマス、是ハナイノト
言ツテモ、農村ノ内部ニ於ケル色々
點ヲ考ヘテ見ルト、農業内部ニ於テモ
相當ノ労働ノ需要ハアル、需要ハアル
ノダシ、又農業ト結ビ付イタ山村、其
ノ他ノ經營ニ於テモ農業労働力ノ需要
モアル譯デアリマスカラ、ソレ等ノ面
ニ持つテ行クノト、ソレカラ矢張り是
ハ開墾ノモウ少シシカリシタ調査ノ
基礎ノ下ニヤツテ行ツテ、此ノ方面ニ
人口ヲ吸收シテ行ク、サウシテ既墾地
ノ農地改革ト云フモノノ效果ヲ完成サ
シテ行クト、斯ウ云フコトガ矢張り必
要ニナツテ來ルノデヤナイカト、斯ウ

○子爵井上勝英君 今御話戴イタノデ

大體了承スルノデアリマスガ、結局又今
後ノ經濟ト云フモノハ可ナリ窮屈化シ
テ來ル、現ニ其ノ好イ例ガ都會ナンカ
デ「ゼネスト」ダノ、何ダノ、或ハ團
體交渉權ダナント云フモノ、結局其ノ
反映ト言ヒマスガ、前觸ノ一ツダト思
フノデゴザイマスガ、サウ云フ意味カ
ラ言ツテモ、今後農村ナンカデ再生産
サレルトハ言フモノノ、農民ノ負擔ト
云フモノガ非常ニ重クナルト云フ風ニ
私ハ考ヘルノデゴザイマスガ、之ニ付
テ大體農林當局アタリデハ今度ノ小作
農ガ自作農ニ變ツタ場合ノ負擔ト云フ
ヤウナモノハ、ドウ云フ風ニナルト御
考ニナツテ居リマスガ

還金ナンカニ付テ云ヘバ、大體現在ノ
小作料程度ノモノヲ拂ツテ、二十四箇
年ノ年賦デ自作農ニナルト云フ建前
ニナツテ居ルノデ、是ハ計算シテ見マ
シテモ、標準農家ニ付テハ大體公租公
課ヲ負擔シマシテモ、今ノ小作料ヨリ
モ廉クナル譯デアリマスガ、唯負擔ノ
問題ハ國方之ヲ將來農村ニ課シテ行ク
此ノ課稅ノ問題ニ係ルノデアリマス
ガ、結局ハ農家ガ之ニ依ツテ其ノ農業
經營ノ改善ヲ行ヒ、生産力ガ上ツテ所
得ガ殖エレバ、其ノ殖エタ所得ニ適當
ナ稅ガカカツテ來ルト云フ風ニナレ
バ、私ハソレデ宜イノダト思ヒマス、
唯サウ云フ關係ナクシテ過重ノ負擔ガ
農村ニカケラレルト云フコトハ是ハ何
處迄モ避ケベキデアリマスガ、農村ガ
實力ヲ備ヘテ、ナウシテ各農家ガソレ
ゾレ所得モ上リ、労働ノ所得モ上ツテ
來テ、又經營上ノ所得モ上ツテ來テ、ソ

○國務大臣(和田博雄君) 是ハ年賦償

還金ナンカニ付テ云ヘバ、大體現在ノ
小作料程度ノモノヲ拂ツテ、二十四箇
年ノ年賦デ自作農ニナルト云フ建前
ニナツテ居ルノデ、是ハ計算シテ見マ
シテモ、標準農家ニ付テハ大體公租公
課ヲ負擔シマシテモ、今ノ小作料ヨリ
モ廉クナル譯デアリマスガ、唯負擔ノ
問題ハ國方之ヲ將來農村ニ課シテ行ク
此ノ課稅ノ問題ニ係ルノデアリマス
ガ、結局ハ農家ガ之ニ依ツテ其ノ農業
經營ノ改善ヲ行ヒ、生産力ガ上ツテ所
得ガ殖エレバ、其ノ殖エタ所得ニ適當
ナ稅ガカカツテ來ルト云フ風ニナレ
バ、私ハソレデ宜イノダト思ヒマス、
唯サウ云フ關係ナクシテ過重ノ負擔ガ
農村ニカケラレルト云フコトハ是ハ何
處迄モ避ケベキデアリマスガ、農村ガ
實力ヲ備ヘテ、ナウシテ各農家ガソレ
ゾレ所得モ上リ、労働ノ所得モ上ツテ
來テ、又經營上ノ所得モ上ツテ來テ、ソ

レニ適當ナ、國民トシテノ負擔ガ掛ツテ行クト云フコトニナリマスレバ、ソレデ宜イト思ヒマスガ、唯暫クハ私ハ斯ウ云フコトハ起ツテ來ルト思フノデアリマス、從來ハ耕地ノ改良ニシテモ、ソレカラ色々ナ農業上ノ施設ニシテモ負擔者トシテハ地主ガ負擔シテ居ツタ、ソレガ今度ハ耕作者ト云フモノガ其ノ負擔者ノ地位ニ代リテアリマスカラ、其ノ關係ニ於テ共同ノ力ヲ負擔ガ分散シマスカラ、或程度迄ハ負擔シ得ルト思フノデアリマス、併シサウデナイヤウナ場合ニハ是ハ矢張り國トシテ將來サウ云フ大キナ施設ナリ何ナリデ農地ノ生産力ヲ擧ゲル爲ニ必要ナモノハ國ガ矢張り從來通り施設ヲ講ジテ援助シテヤツテ行クト云フコトニナラウカト思ツテ居リマス

○子爵井上勝英君 モウ一ツ伺ヒタイノハ、先程三島子爵ガ御質問ニナツタ教育ノ點ナデアリマスケレドモ、私モ非常ニ之ヲ重視シテ居ルノデ、現ニ「デンマーク」ニシテ農業ニ依ツテ此ノ國ガ再興シタト云フノモ結局農民自體ニ實力ヲ持タシタト云フ所ニ、非常ナ力ガアツタト云フコトナンデアリマスケレドモ、先程大臣ハ現在ノ農業教育ニ付テはラナイト云フヤウニ仰ツシヤツタト私伺ヒマスケレドモ、實ハ私モ其ノ點デ現在ノ文部省ノ農業教育ト云フモノニ付テ非常ニ不滿ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ付キマシテ、現ニ現在農林省デハ農民道場ト云フモノヲ以テ非常ニ積極的ニヤツテ居ラレドモ、今後一體農民道場教育ト云フモノニ付テドウ思ツテ居ラレカ、又私聞イテ居ル所デハ現在ノ農民道場ト云フモノハ從來ノ兎角精神主義的ナ存在デアツテ、技術的ニハ

幾分不足シテ居ルト云フ所ガアツタト思フノデスケレドモ、是ハ豫算ノ關係トカ色々ナ制約ガアツタト思フノデ、之ニ付テハ更ニ積極的ニ援助サレルト云フ必要ガアルト思フノデスガ、其ノ點ニ付テ一ツ是非何ツテ置キタイ、同時ニ先般モチヨット新聞紙上デ拜見シマシタガ、今度指導農場ト云フモノヲ造ラレル所ウ云フコトデアリマスケレドモ、此ノ指導農場ト云フモノモ私ハ各府縣ヲチヨット歩イテ見マス、豫算ガサウ大シテナイノニ可ナリ造ル：豫算ガナイト云フノハ現在ノ物價高ノ關係モアリマスシ、色々ノ點デ與ヘラレテ居ルモノデハ十分ノコトガ出來ナイ、或處デハ土地ハ見付カツタケレドモ建物ガ出來ナイ、或處デハ土地ハドウモナカク見付ケニクイト云フヤウナ状態ガアツテ、非常ニ停頓シテ居ルヤウニ見テ參リマシタノデスガ、現在此ノ資料不足ダトカソレカラ耕地ガ益、狭クナツテ居ル現在ニ於キマシテ、何トカシテ此ノ既存ノモノヲ活用スルト云フコトガ非常ニ大事ナンデ、此ノ指導農場ト云フヤウナモノモ從來ノ農民道場ニ附設シテ造ルコト、或ハ又農民道場ニ缺ケテ居ル技術面ニ付テ積極的ニ進メルト云フ風ニ御考ヘ戴ケナイモノカドウカ、マア聞ケバ是ハ噫デアリマスカラ、サウデハナイト思フノデアリマスケレドモ、農民道場關係ガ開拓局關係ニアル、ソレカラ指導農場ガ今度ハ農政局ノ中ニアルト云フヤウナコトデ、其ノ管轄爭ヒト云フヤウナ：爭ヒト云ツテハ語弊ガアルト思ヒマスケレドモ、其ノ間デドウモウマク行カナイノダト云フヤウナ風ニモ風ノ便リデ聞クノデアリマスガ、其ノ點ニ付テドウ云フ風ニ御考デアリマスガ

○國務大臣(和田博雄君) 御答ヘシマスガ、此ノ農村ノ教育ト云フ點ニ付キマシテ、農民道場ヲ使フト云フコトハ私モ贊成ナンデスガ、先般モ農民道場長ノ諸君ガ自主的ニ御集リニナツテ、色々農民道場ノ行キ方ニ付テ自己反省ヲヤラレタ譯デアリマシテ、私モソレニ會ツテ色々話ヲ伺ツタノデアリマスガ、從來ノ農民道場ト云フモノガ、其ノ經營ト云フ點ガ寧ろ疎カニナツテシマツテ、所謂愚言ヘバ神憑リ式ヲ精進ハアツタ譯デ、是ハ時勢上已ムヲ得ナカツタ言ハ得ナカツタ譯デアリマスシ、又ソレハソレナガラニ一應ノ社會的ノ目的ヲ達シタトモ思フノデアリマスガ、唯農民ノ教育、殊ニ農村ノ中堅ノ農民ノ養成ト云フ點カラ行キマスト云フト、ソレダケデハ少シ足ラナイ點ガアルノデハナイカト云フ氣モスルノデアリマス、固ヨリ此ノ健全ナ精神ノ涵養ト云フ點カラ、高邁ナ思想ト、シツカリトシタ自負トヲ持ツタヤウナ、殊ニ農業ナラ農業ト云フモノニ付テノ謂ハバ自覺ト責任トヲ持ツタ、精神的ニ立派ナ青年ガ出來マスルコトハ、是ハ望ンデモ望ミ切レナイ程ノ大切ナコトダト私モ思フ譯デアリマスガ、唯矢張り農村ノ農民ノ教育ヲ致シマスル時ニハ、ドウモ其ノ教育ガ今迄ノヤウナ一ツノ形ニ捉ハレテシマフト云フコトハ、私ハドウカト思フノデアリマス、此ノ點モ農民道場長ノ諸君ニ言ツタノデアリマスガ、矢張り一番日本デ必要ナノハ、將來非常ニ自己ノ値打ヲ知リ、又他人ノ値打ヲ知ツタ、兎ニ角個性ノアル、自分ノ本當ノ個性ヲ活カシ得ルヤウナ人ガ欲シイデアツテ、斯ウ云フ人ヲ作ルヤウニ一ツヤツテ貰ヒ

タイト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、唯ソレニハ是ハ矢張り農家ノ子弟デアリマスルカラ、ドウシテモ農業ノ實際上ノ教育ト云フハマスガ、技術又經營、サウ云ツタ面ノコトヲシテ、ソレデソコニ矢張り精神的ナモノヲ擷ンデ行クト云フコトニ致シマセスト、ドウモ足ガ地カラ離レチヤツタヤウナモノデモチヨット困ルト斯ウ思ツテ、農民道場ト云フモノガ從來ヨリハ經營面ニモウ少シ力ヲ注イデ貰ヒタイト云フコトモ、私モ前ノ農政局長ノ時ニ申シタコトモアルノデアリマスガ、是ハ農民道場ヲサウ云フ農村ノ中堅ノ子弟ノ教育ノ爲ニ使フト云フコトニ付テハ、私ハ是非サウシテ行キタイト思ツテ居リマス、ソレカラソレニハ農民道場ト云フモノノ施設ガ實ハ十分デナイ點ガアツタデアラウト思ヒマス、此ノ點ニ付テハ農民道場長ノ諸君カラ相當熱烈ナ要求ガアツタ譯デアリマスガ、經營的ニ色々更新シテ行ク爲ニハ、必要ナ施設ニ付テハ政府トシテモ是ハ考ヘル必要ガアルト思ヒマス、唯指導農場ト關係デゴザイマスガ、農林省トシテハ出來ルダケ農民道場ヲ縣トシテハ之ヲ指導農場ニ選定スルコトハチツトモ拒否シテハ居ナイノデアリマシテ、是ハア、云フ施設アリ、寧ろ我々ノ施設、又立派ナ道場長ノ居ルヤウナ所ハ、指導上指導農場ニナツテ下サレバ是ハ一番宜イコトデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テハ、農政局ニアルカラ、開拓局ニアルカラト云フノデ、別ニドウ斯ウト云フコトハアリマセス、方針トシテハ農林省トシテハ一貫シテ居ル積リデアリマス、マア農民道場ハ幸ニ各縣ニアルシ、ソレカラ相當ノ人材モ居ルノデスカラ、最近ハ又新シイ一ツノ農

○國務大臣(和田博雄君) イヤ、私ハ用事ハアリマセス

○子爵井上勝英君 他ノ方々ニ若シ御アリニナレバ、私後デ政府委員ノ方ニ伺ツテ、アトハ止メマス、若シナケレバ續ケサシテ戴キマス

○委員長(男爵稻田昌植君) 宜シウゴザイマス

○子爵井上勝英君 モウ一ツ、今度ハ開拓關係ノコトニ付テ少シ伺ハシテ戴キタイノデスガ、現在方々ニ少シ歩イテ見テ私非常ニ痛感シタノデゴザイマスケレドモ、ソレカラ只今戴イタ資料ノ中ニモ、自作農創設特別措置法ノ四十條ニ關係スル問題デアルノデアリマスガ、開墾ナンカヤラレル場合ニ、ドウモ之ヲ阻害シテ居ル問題ガ随分アルト云フ風ニ私感ジテ來タノデアリマス、現在開拓ト云フモノガ急イデモナカナカ成績ヲ擧ゲラレナイト云フコトハ、是ハ當然ナコトナンデアリマスケレドモ、ソレニ付テ五箇年間二百六十萬町歩造成計畫ト云フコトヲヤラレテ居ルノデゴザイマスガ、是ハマア實

村ニ於ケル知識慾ノ芽生ヘト言ヒマスガ、サウ云フ要求モ非常ニ強イ譯デアリマスノデ、農民道場ハ相當活用シテ、農村ノ實際的ノ教育ト云フコトハ私トシテモヤツテ行キタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○子爵井上勝英君 大臣ノ御言葉ヲ聽イテ非常ニ嬉シク思ヒマスケレドモ、現實ニ地方ヘ行ツテ見マス、今ノ點ガ誠ニアヤフヤデアリマスモノデスカラ、ドウカ一ツ此ノ點ヲ更ニ、諄イヤウデアリマスケレドモ、能ク行クヤウニ御仕向ケ願ヒタイト思ヒマス、アト大臣ハ御用ガ御アリニナルト思ヒマスカラ、私アトハ……

際カラ言フト非常ニムツカシイ問題
デ、單ナル豫算の措置ヲ講ズレバソレ
デ足リルト云フ問題デナイト思フ
デアリマス、其ノ素地ノ獲得ニ付テ可
成リ陸路ガアルト云フ風ニ感ジマシ
テ、工事ヲ進メテ開拓者ヲ入植サセル
ノニ、何カ之ヲ制約スル惡イ諸規則ハ
ナイカト云フコトヲ此ノ開拓ベテ見タ
ノデアリマスガ、實ニ煩瑣ナ手續ガア
ルノデゴザイマス、四十條ノ説明ニモ
ゴザイマシタノデアリマスケレドモ、
農地開發法トカ、或ハ耕地整理法、河
川法、砂防法、森林法、牧野法、或ハ
國立公園法トカ、其ノ他法律關係デ以
テ八十一種類、ソレカラ河川堰堤規則
トカ町村有林野ニ關スル手續、電信電
話線建設條例等ノ諸規則ト云フモノガ
五十六種デ、是等合セテ大體百四十種
類位ガ關係シテ居ル、從ツテ事務能率
ガ實ニ擧ラナイデ、事業著手迄ニ驚ク
ベキ日時ガ經過シテシマフ、斯ウ云フ
コトガアツテハ、緊急實績ヲ擧ゲヨウ
トシテモナカ、出來ナイノデアリマ
ス、斯カル制約ヲ排除スルト云フコト
ガ必要デヤナイカト思フノデスガ、其
ノ點ニ付テドウ云フ御考デゴザイマ
カ、チヨット伺ヒタイ

措置法案ニ於キマシテハ、開拓適地ト
云フ風ニ決定サレタ所ニ付キマシテ
ハ、其ノ後ニ於ケル開發農地ノ色々ナ
手續、其ノ他認可、斯ウ云ツタコトハ
必要ニスル、即チサウ云ツタ特別ナ
改メテ色々ナ手續ヲ履マデモ、開墾
ハ進メ得ルト、斯ウ云フ状態ヲ作ル爲
ニ規則ヲ制定シテヤウナ次第デゴザ
マス、河川法トカ、或ハ砂防法トカ、
或ハ國立公園法トカ、天然名勝記念物
保存法トカ、其ノ他森林法、牧野法、
色々ゴザイマスガ、一旦開墾適地ト決
定サレタ分ニ付キマシテハ、其ノ開發
ニ付キマシテハ是等ノ諸規則ハ適用セ
ラレナイ、斯ウ云フ規則ヲ制定シテヤ
ウナ次第デアリマス

○子爵井上勝英君 モウ少シ伺ハシテ
戴キマスケレドモ、今度ノ開拓ニ關係
ノ事業實施機關ニ對シテデアリマス
レドモ、緊急開拓ノ事業主體ト云フモ
ノハ、大體五十町未滿ノ集團地開墾ハ
地方長官ノ適當ト認メル團體或ハ個人、
五十町カラ三百町ノ集團開拓ハ都道
府縣、農地開發營團、地方農業會其ノ
他實力アル團體、個人デ地方長官ノ決
定スルモノ、三百町以上ハ農林省デ決
定スルト致シテ居リマスガ、併シ實情
ニ於テハ農地開發營團ガ相當部分擔當
シテ居ル、此ノ農地開發營團ニ付テ伺
ヒタイノデアリマスガ、營團ノ過去ノ
五箇年ノ實績ト云フモノハ、必ズシモ
宜イト考ヘラレナイノデアリマスガ、
是ハ勿論論争ト云フヤウナモノガア
リ、努力、資材ガ極端ニ制限ヲ受ケタ
リ、空襲激化ノ爲ニ工事ハ進捗セズ、
營團ニ對スル當局ノ手續ガ非常ニ煩雜
ダト云フヤウナコトヲ聽カサレテ、ソ
レガ實績ノ上ラナイ原因ダト云フコト
造言ハレテ居ル位ナンデアリマスケレ

ドモ、今度緊急開拓ノ大事業ヲ進メル
上ニ於テ、營團ノ自主性ヲモウ少シ認
メラレナイモノカドウカ、必要以上ノ
干渉ハ少シ慎シテ實ヒタイト云フコト
ヲ、營團側トシテモ言ツテ居ルヤウニ
私闘イテ居ルノデアリマスガ、營團ガ
十分ニ其ノ機能ヲ發揮シナケレバナラ
ナイト思フノデアリマス、營團ノ事業
ハ專ラ開墾バカリデ、集團地ノ開墾ニ
ハ特ニ營團ノコトモヤラナイデ實績ガ
上ラナイ、此ノ方面ノ資金ト云フモノ
ハ一體ドウ云フ風ニ配慮セラレテ居ル
モノカ、ソレカラ入植當初ニ於テ入植
者ガ一番困難ヲ感ジテ居ルノハ營
團ノ關係デ、種苗ト肥料ノ入手デ
ズ、ソレカラ生活ニ於テハ、主食ノ
購入デアリマス、先程私ハ其ノ資料ヲ
出シテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲマ
シタノハ、實ハ二箇所バカリ見マシタ
處ガ、此ノ主食ノ購入ト云フコトニ付
テ非常ニ困ツテ、運配ナドト云フコト
デ可ナリ苦シシテ居ルヤウナデアリ
マス、ア、云フ農地ヲ開墾シテ入ツテ
居ル連中ニ取ツテハ非常ニ負擔ニナル
ト思フノデアリマス、此ノ點ヲ伺ヒタ
イト思ツテ居ルノデアリマスガ、今資
料ガアリマセスケレバ、後デ書面デ伺
ツテモ結構デアリマスガ、是等ノ人々
ヲ親切ニ面倒ヲ見テ戴クト云フコト
ガ、結局開拓地ヲ今後完全ニスルカド
ウカト云フコトダト思フノデス、入植
者ト共ニ苦樂ヲ重ネルベキ營團ガ之ヲ
輕視シテ居ルト云フコトハ、ドウモ私
ニハ解セナイノデアリマス、此ノ際營
團ノ機構ヲ改メテト言ヒマスガ、今迄
ハドウモ土木關係ガ非常ニ多クテ、何
デモ彼デモヒツクリ返シテシマツテ、
其ノヒツクリ返シタ後ニ草草生ヘテ居
ルト云フヤウナコトデハ、折角ノ開墾

シテヤラウト云フヤウナ氣持モ十分ノ
成果ヲ擧ゲ得ナイト云フコトニナルト
思ヒマスルノデ、其ノ點ニ付テ伺ヒタ
イノデス、ソレカラモウ一ツ、今度ノ
第二次金融措置ニ關聯シテ、開拓關係
デ營團トカ増産隊ノ運營ニ付テ何カ支
障ガナカツタカドウカ、其ノ點ヲチヨ
ット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(笹山茂太郎君) 只今開發
營團ニ付テ御尋ネガゴザイマシタガ、從
來農地開發營團ノ仕事ト云フモノハ、
御承知ノ通り農地開發法ニ依ツテ運
用サレタ面ガ大部分デゴザイマス、從
ツテ地區ノ決定ナリ其ノ他ニ付キマシ
テ、色々認可ヲ要スル事項ガ多クツタ
ノデゴザイマス、處ガ斯ウ云フ緊急開
拓事業ニナリマスト云フト、地區ノ
選定其ノ他ニ付キマシテハ、從來ノ農
地開發法ノヤウナ風ニヤルト云フコト
ハ非常ニ手間ヲ取ルコトニナリマス
デ、現在ニ於キマシテハ、農地開發法
ニ依ルヤウナ手續ハ執ツテ居ラナイノ
デアリマス、從ヒマシテ經費其ノ他ノ
點ニ付キマシテモ、政府ノ委託ト云フ
コトニシマシテ、國庫ノ方カラ供給サ
レル資金ヲ以テ專ラ動イテ居ルヤウナ
狀況デゴザイマス、從來ヤカマシク言
ツタト云フ點ハ、營團ヲ金縛リニスル
ト云フヤウナ意味合デハナカツタト思
ヒマス、營團ガ設立勿々デゴザイマシ
テ、其ノ育成ニ付キマシテハ、非常ニ
各方面ノ援助ヲ要スルト云ツタヤウナ
關係カラ、ソレヲ育成ル爲ニ色々御注
意ヲ發シテ點ガアラウカト思フノデゴ
ザイマス、今後ノ運營ニ付キマシテ
ハ、勿論營團ハハツキリシタ任務ヲ持
ツテ居ルノデゴザイマスカラシテ、ソ
レガ自主的ニ其ノ目的ニ向ツテ努力サ
レルコトハ、勿論好マシイコトデモア
リマスシ、又積極的ニ自ラノ力ヲ養ツ
テサウ云フ點ノ解決ニ當ラレルコト
ハ、我々トシテモ希望スル所デゴザイ
マス、又開發營團ガ從來營團方面ニ付
テハ比較的手ヌカリガアツタト云フコ
トハ、御話ノ通りデゴザイマス、今後
開發營團ノ地區ニ於ケル所ノ入植者ノ
營團指導ニ付キマシテハ、十分配慮シ
テ参リタイト斯ウ考ヘテ居ルノデゴザ
イマス、是等ノ營團ノ指導ニ要スル所
ノ資金ハ、現在中央金庫等カラ借リテ
居ルノデゴザイマス、又入植者ニ對ス
ル所ノ種苗、肥料、農具等ノ配給ニ付
キマシテハ、是ハ大體ニ於テハ地元ノ
農業會ノ方ト連絡ヲ取リマシテ、是等
ノ配給ヲ受ケテ居ルノデゴザイマス、
勿論營團自體ト致シマシテモ、農具
ヲ自ラ買ツテ入植者ニ配給スルト
云フヤウナコトモアルノデゴザイ
マス、開拓地ニ於ケル所ノ肥料ノ
配給ニ付キマシテハ、是ハ一般ノ
耕地ト同様ニ基準ヲ以テ配給サレ
テ居ルノデゴザイマス、主食ノ配給デ
ゴザイマスガ、是ハ從來入植者ノ勞働
ニ加配シテ、男ハ一日二合、女ハ一合
ト云フ風ニ加配方定メラレテ居ツタノ
デゴザイマス、處ガ地方ニ依リマシテ
ハ、縣全體ノ食糧事情ガ非常ニ窮屈デ
アルト云ツタヤウナ關係カラ、是等ノ
加配ガ履行サレテ居ラナイ所アツタ
ノデゴザイマスガ、今後は是等ノ配給ニ
付キマシテハ、地方トモ連絡ヲ取リマ
シテ、出來ルダケ面倒ヲ見ルト云フコ
トニ致シテ参リタイト思フノデゴザイ
マス、尙先般ノ金融措置ニ依リマシ
テ、是等ノ營團トカ或ハ其ノ他ノ開拓
關係ノ團體ニ付キマシテ、ドウ云フヤ
ウナ影響ガアツタカト云フ御尋デゴザ
イマスガ、其ノ當時預金ヲシテ居ツタ

者ノ中デ若干ハ第二封鎖ニ掛ツタノデ
ゴザイマス、營團ノ分ニ付キマシテ
ハ、餘リサウツタコトガ結果的ニナ
カツタ、斯ウ云フコトニナツテ居ル
デゴザイマス、是等ノ封鎖サレタ資金
ノ措置ニ付キマシテハ、各方面ト折
角協議ヲ進メテ居リマス

○子爵井上勝英君 御尋ネシタ中ノ營
團ノ機構改革ト云フヤウナコトニ付テ
ナノデゴザイマスケレドモ、是ハ或ハ
現在營團ノ理事長ト云フヤウナ者ガ
ルノデ、ソチヲ方デヤルト云フコト
ニナルカモ知レマセケレドモ、現在
ノ機構ト云フモノハ、ドウモ私ナンカ
ノ考デハ、土木關係ガ重視サレテ、肝
心ナ營農關係ニ主力ガ注ガレナイト云
フヤウナ風ニ感ズルノデアリマスガ、
其ノ點ニ付テハ別段御考ハアリマセ
ヌカ

○政府委員(笹山茂太郎君) 從來營團
ニ付キマシテハ、先程申上ゲタヤウ
ニ、營農面ノ指導陣ガ割合ニ貧弱デア
ツタト云フ點ハ御話ノ通りデゴザイマ
シテ、今後は等ノ面ニ對スル所ノ改革
ニ付キマシテハ、幸ヒ營農指導ノ豫算
ガ取レマシタノデ、サウ云ツタ方面ニ
付キマシテ施設ヲ充實シテ參リタイ、
斯ウ考ヘテ居リマス、營團機構ノ問題
ト致シマシテハ營農部ト云フヤウナ部
ヲ特ニ設ケマシテ、專任ノ理事ヲ特ニ
置キマシテ、入植者ノ營農指導ト云フ
コトニ指導陣ヲ擴充シタイト斯ウ考ヘ
テ居リマス

○子爵井上勝英君 入植ニ付テモウ一
點伺ツテ置キタイノデゴザイマスガ、
入植者ノ決定ハ之ヲ府縣廳ニ大體一任
サレテ居ル、處ガ最近ノ傾向ヲ見マス
ト、各府縣デドウモ入植地ヘハ自分ノ
府縣ノ入植者ダケヲ入レル、適格者ガ

アツテモ、他府縣ノ者ハ絶對ニ入植セ
シメナイト云フヤウナコトガゴザイマ
スノデ、是デ果シテ適正ナ入植者
ノ配置ガ出來ルカドウカト云フコトヲ
疑フノデアリマスガ、先日香川縣ノ栗
能村ノ分村ノ滿洲ノ牡丹江ノ歸還者百
二十五名ガ、岡山縣ニ入植シタト云フ
ノデ、關係者ガ熱心ニ岡山縣當局ニ懇
請シタノデアリマスガ、絶對ニ他府縣
ノ者ハ入レラレナイト斷ハラレタ、處
ガ此ノ岡山ノ地區デハ入植者ガナイト
云フ風ナコトモアツテ、チヨツト矛盾
シテ居ルヤウニ私見テ來テ居ルノデス
ガ、斯ウ云フ矛盾ガ開拓事業ガ進展シ
ナイ一ツノ原因デハナイカ、政府ハ入
植者ヲ決定スルコトニ付テ、何トカモ
少シ府縣ニ一任ト云フコトト同時
ニ、何カ御考ニナツテ戴ケルヤウナ餘
地ハナイカ、特ニ滿洲開拓民ト云フ者
ガ隨分歸ツテ來テ入植就農ノ希望モア
リ、又或ハ非常ニ悲惨ナ状態歸ツテ
來ル是等ノ人々ニ對シテ、農林省トシ
テモ國策移民ト云フヤウナコトデ可ナ
リ積極的ニ推進サレタノデアリマスガ
ラ、此ノ人達ニ對シテ何トカモウ少
シ見テ上ゲテ戴キタイ、此ノ制度ト云
ヒマスガ、府縣デ決メテシマフト云フ
ヤウナ點ニ付テノ改正ヲ私ハ希望シタ
イノデアリマスガ、其ノ點ニ付テノ御
所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(笹山茂太郎君) 入植者ノ
決定ニ付キマシテハ、御話ノヤウ
ニ、只今府縣廳ノ方デ決定致シテ居ル
ノデゴザイマス、ト申上ゲマスルノ
ハ、結局各府縣ニソレレノ希望者ガ集
ルノデゴザイマスカラシテ、其ノ集ル
所ノ開拓希望者ヲ此ノ地區ニハドレダ
ケ入レルカト云フヤウナ事柄ニ付キマ
シテハ、矢張り府縣廳ガ一番實情ヲ知

ツテ居ルノデゴザイマスカラシテ、現
在ノ府縣廳ノ決定ニ委シテ居ルノデ
ゴザイマス、唯其ノ府縣廳ノ方デ希望
者ガ多クテ、其ノ縣内ニ於テ入植ノ豫
定地方見付カラナイト云フヤウナ場合
ニ於キマシテハ、農林省ノ方ニ其ノ府
縣カラ申出ルノデゴザイマス、サウシ
タ場合ニ於キマシテ、農林省ノ方デ餘
裕ノアルト思ハレル所ノ府縣廳ニ交渉
シマシテ、今其ノ入植者ヲ斡旋シテ
行ツテ居ルノデゴザイマス、先般モ北
海道ニ對シマシテ、二萬戶入植サセル
ト云フ風ニ準備ガ進ンデ居ルヤウナ狀
態デゴザイマシテ、又東京附近、其ノ
他ノ入植希望者ノ多イ所、而モ一面ニ
於テ適地ガナイト云フヤウナ所ニ於キ
マシテハ、東北方面ニソレレノ御世話
ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマ
ス、此ノ入植者ノ決定ニ付キマシテ府
縣「ブロック」ニナラナイヤウニ極力私
共ノ方デモ能ク心懸ケテ參リタイト斯
ウ考ヘテ居リマス

○委員(男爵稻田昌植君) 牧野サ
ン、御發言ヲ御要求デシタガ、今日ハ成
ルベク四時迄ニ終リタイト思ヒマスガ、
ソレ迄ニ御濟ミデアレバ只今御願ヒシ
タイト思ヒマスガ……
○牧野英一君 ソンナ風ニハナリハシ
ナイト思ヒマスガ、明日御許ヲ願ヘレ
バ明日ニデモ……
○委員長(男爵稻田昌植君) デハ明
日……
○菅澤重雄君 今度ノ農調法ニ依ツ
テ、二年間ニ土地ヲ買上ゲルト云フコ
トニナリマスガ、其ノ買上ゲタ土地ヲ、
小作人ガ若シ買入レテ希望シナイ場合
ニハ、政府ハ之ヲ小作ニ付テ置キ見
込デアリマスガ

マシテ、ドウシテモ小作人ガ買ハナイ
ト云フモノハ、餘リ多ク我々ハ豫期シ
テ居リマセヌガ、サウ云フモノガアリ
マシタ時ニハ、是ハ其ノ村ノ農事實行
組合デアリマスガ、或ハ農業會等ニ
自作農創定ノ爲ニ賣拂ヒマシタリ、或ハ
最後ニハ農地委員會ニ管理サセル、斯ウ
云フコトニ致サウト思ツテ居リマス、
ソレカラ殊ニ又賣レ残リノ土地デ、其
ノ小作人ガモウ將來耕作ハ止マテシマ
フ、斯ウ云フヤウナコトガアリマシタ
時ニハ、元ノ地主ニ十分耕作ノ能力ガ
アツテ、農地委員會ガソレガ適當ト認
メタモノハ、其ノ自作ブル者ニ賣ル、
斯ウ云フコトニ致シタラドウカ、斯ウ
考ヘテ居リマス

○菅澤重雄君 私ハ斯ウ云フコトヲ考
ヘルノデアリマスガ、是ハ杞憂ニ終レ
バ甚ダ結構デアリマスケレドモ、先程
三島子爵ノ言ハレルヤウニ、地主ニ於
テモ又地方的ニ於テモ、非常ニ小作料
ノ凶凶ノアル所ガアツテ、或ハ小作人
カラ難リ上ゲテ小作料ヲ高クシテ搾取
ヲスルト云フヤウナ、第三者カラ見ル
ト見エル場面モアリマセウケレドモ、
最モ安イ三割トカ五割トカ一反歩ノ地
料ガ現在行ハレテ居ル、是ハ三十年モ
續イテ、物價ノ安イ時カラ同様ノ額デ
居ルト云フヤウナ所ハ、餘リニ其ノ土
地ヲ買フコトヲ小作人ハ希望シナイノ
デアリマスガ、サウスルト今伺ヒマシ
タヤウニ、農地法ニ依ツテ地方ノ農地
委員會カ何カガ買入レテ、小作人ニ付
ケタ場合ニ、地料ヲ上ゲナイデ其ノ儘
デ居ルヤ否ヤ、斯ウ云フヤウナコトガ
心配サレルノデアリマスガ、又政府ガ
買上ゲタ場合ニ於テモ、貸賃價格ヲ上
ゲテ、所謂小作料ヲ引上ゲルト云フヤ
ウナコトガアリハシナイカ、斯ウ云フヤ

ウナコトモ心配サレルノデアリマス
ガ、早晚貸賃價格ト云フモノモ、地租
ヲ政府ガ取ル場合ニ於テ改正シナケレ
バナラナイト思フガ、其ノ時分ニ安イ
所ハ今度貸賃價格ヲ引上ゲルト云フヤ
ウナコトガ起リハシマセヌデスカ、サ
ウ云フコトヲ豫想シタ時ニ、從ツテ
地料モ引上ゲルト云フヤウナ結果ニナ
リハシナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘル
ノデアリマスガ、ソレハ政府ニ於テサ
ウ云フ場面ニ付テドウ御考ヘニナリマ
スカ

○國務大臣(和田博雄君) 賣レ残ツタ
土地ニ付テ、假ニソレヲ農地委員會ガ
最後ノ手段トシテ管理シマスルヤウナ
場合ニハ、勝手ニ小作料ヲ上ゲルト云
フコトハ、法律ノ建前カラモ出來ナイ
ヤウニナツテ居リマスルノデ、其ノ心
配ハマアナイノデヤナイカ、斯ウ思ツ
テ居リマス、是ハ小作料ノ統制令デキ
チント統制サレテ居リマスカラ、勝手
ニ農地委員會ガ上ゲテ行クト云フコト
ハ出來ナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○菅澤重雄君 尙第九條ノ八ノ説明ヲ
見ルト、田ニ在ツテハ收入ノ二割五分
ヲ超エルコトヲ得ズ、畑ニ在ツテハ一
割五分ヲ超エルコトヲ得ズト云フヤウ
ナ規定ガアリマスガ、若シ此ノ二割五
分ト云フコトニナルト、今ノ價格ニス
レバ一反歩ノ地料ガ百三十七圓五十錢
迄引上ゲル可能性ヲ持ツテ居ルシ、畑
ハ今ノヤウニ諸ヤナンカヲ作ツテ、五
百圓モ獲レルト云フコトニナルト、二
千圓ニモナル、又其ノ他ノ作物ガ千圓
モ獲レル、サウスルト三千圓ノ收入ガ
アル、ソレヲ一割五分ニ引上ゲルコ
トガ出來ルト、四百五十圓迄引上ゲル
コトガ出來ルト云フ算定ニナルノデア
リマスガ、政府ハサウ云フヤウニ、田

○菅澤重雄君 尙第九條ノ八ノ説明ヲ
見ルト、田ニ在ツテハ收入ノ二割五分
ヲ超エルコトヲ得ズ、畑ニ在ツテハ一
割五分ヲ超エルコトヲ得ズト云フヤウ
ナ規定ガアリマスガ、若シ此ノ二割五
分ト云フコトニナルト、今ノ價格ニス
レバ一反歩ノ地料ガ百三十七圓五十錢
迄引上ゲル可能性ヲ持ツテ居ルシ、畑
ハ今ノヤウニ諸ヤナンカヲ作ツテ、五
百圓モ獲レルト云フコトニナルト、二
千圓ニモナル、又其ノ他ノ作物ガ千圓
モ獲レル、サウスルト三千圓ノ收入ガ
アル、ソレヲ一割五分ニ引上ゲルコ
トガ出來ルト、四百五十圓迄引上ゲル
コトガ出來ルト云フ算定ニナルノデア
リマスガ、政府ハサウ云フヤウニ、田

○菅澤重雄君 尙第九條ノ八ノ説明ヲ
見ルト、田ニ在ツテハ收入ノ二割五分
ヲ超エルコトヲ得ズ、畑ニ在ツテハ一
割五分ヲ超エルコトヲ得ズト云フヤウ
ナ規定ガアリマスガ、若シ此ノ二割五
分ト云フコトニナルト、今ノ價格ニス
レバ一反歩ノ地料ガ百三十七圓五十錢
迄引上ゲル可能性ヲ持ツテ居ルシ、畑
ハ今ノヤウニ諸ヤナンカヲ作ツテ、五
百圓モ獲レルト云フコトニナルト、二
千圓ニモナル、又其ノ他ノ作物ガ千圓
モ獲レル、サウスルト三千圓ノ收入ガ
アル、ソレヲ一割五分ニ引上ゲルコ
トガ出來ルト、四百五十圓迄引上ゲル
コトガ出來ルト云フ算定ニナルノデア
リマスガ、政府ハサウ云フヤウニ、田

○菅澤重雄君 尙第九條ノ八ノ説明ヲ
見ルト、田ニ在ツテハ收入ノ二割五分
ヲ超エルコトヲ得ズ、畑ニ在ツテハ一
割五分ヲ超エルコトヲ得ズト云フヤウ
ナ規定ガアリマスガ、若シ此ノ二割五
分ト云フコトニナルト、今ノ價格ニス
レバ一反歩ノ地料ガ百三十七圓五十錢
迄引上ゲル可能性ヲ持ツテ居ルシ、畑
ハ今ノヤウニ諸ヤナンカヲ作ツテ、五
百圓モ獲レルト云フコトニナルト、二
千圓ニモナル、又其ノ他ノ作物ガ千圓
モ獲レル、サウスルト三千圓ノ收入ガ
アル、ソレヲ一割五分ニ引上ゲルコ
トガ出來ルト、四百五十圓迄引上ゲル
コトガ出來ルト云フ算定ニナルノデア
リマスガ、政府ハサウ云フヤウニ、田

○菅澤重雄君 尙第九條ノ八ノ説明ヲ
見ルト、田ニ在ツテハ收入ノ二割五分
ヲ超エルコトヲ得ズ、畑ニ在ツテハ一
割五分ヲ超エルコトヲ得ズト云フヤウ
ナ規定ガアリマスガ、若シ此ノ二割五
分ト云フコトニナルト、今ノ價格ニス
レバ一反歩ノ地料ガ百三十七圓五十錢
迄引上ゲル可能性ヲ持ツテ居ルシ、畑
ハ今ノヤウニ諸ヤナンカヲ作ツテ、五
百圓モ獲レルト云フコトニナルト、二
千圓ニモナル、又其ノ他ノ作物ガ千圓
モ獲レル、サウスルト三千圓ノ收入ガ
アル、ソレヲ一割五分ニ引上ゲルコ
トガ出來ルト、四百五十圓迄引上ゲル
コトガ出來ルト云フ算定ニナルノデア
リマスガ、政府ハサウ云フヤウニ、田

○菅澤重雄君 尙第九條ノ八ノ説明ヲ
見ルト、田ニ在ツテハ收入ノ二割五分
ヲ超エルコトヲ得ズ、畑ニ在ツテハ一
割五分ヲ超エルコトヲ得ズト云フヤウ
ナ規定ガアリマスガ、若シ此ノ二割五
分ト云フコトニナルト、今ノ價格ニス
レバ一反歩ノ地料ガ百三十七圓五十錢
迄引上ゲル可能性ヲ持ツテ居ルシ、畑
ハ今ノヤウニ諸ヤナンカヲ作ツテ、五
百圓モ獲レルト云フコトニナルト、二
千圓ニモナル、又其ノ他ノ作物ガ千圓
モ獲レル、サウスルト三千圓ノ收入ガ
アル、ソレヲ一割五分ニ引上ゲルコ
トガ出來ルト、四百五十圓迄引上ゲル
コトガ出來ルト云フ算定ニナルノデア
リマスガ、政府ハサウ云フヤウニ、田

○菅澤重雄君 尙第九條ノ八ノ説明ヲ
見ルト、田ニ在ツテハ收入ノ二割五分
ヲ超エルコトヲ得ズ、畑ニ在ツテハ一
割五分ヲ超エルコトヲ得ズト云フヤウ
ナ規定ガアリマスガ、若シ此ノ二割五
分ト云フコトニナルト、今ノ價格ニス
レバ一反歩ノ地料ガ百三十七圓五十錢
迄引上ゲル可能性ヲ持ツテ居ルシ、畑
ハ今ノヤウニ諸ヤナンカヲ作ツテ、五
百圓モ獲レルト云フコトニナルト、二
千圓ニモナル、又其ノ他ノ作物ガ千圓
モ獲レル、サウスルト三千圓ノ收入ガ
アル、ソレヲ一割五分ニ引上ゲルコ
トガ出來ルト、四百五十圓迄引上ゲル
コトガ出來ルト云フ算定ニナルノデア
リマスガ、政府ハサウ云フヤウニ、田

○菅澤重雄君 尙第九條ノ八ノ説明ヲ
見ルト、田ニ在ツテハ收入ノ二割五分
ヲ超エルコトヲ得ズ、畑ニ在ツテハ一
割五分ヲ超エルコトヲ得ズト云フヤウ
ナ規定ガアリマスガ、若シ此ノ二割五
分ト云フコトニナルト、今ノ價格ニス
レバ一反歩ノ地料ガ百三十七圓五十錢
迄引上ゲル可能性ヲ持ツテ居ルシ、畑
ハ今ノヤウニ諸ヤナンカヲ作ツテ、五
百圓モ獲レルト云フコトニナルト、二
千圓ニモナル、又其ノ他ノ作物ガ千圓
モ獲レル、サウスルト三千圓ノ收入ガ
アル、ソレヲ一割五分ニ引上ゲルコ
トガ出來ルト、四百五十圓迄引上ゲル
コトガ出來ルト云フ算定ニナルノデア
リマスガ、政府ハサウ云フヤウニ、田

ニ在ツテハ二割五分、畑ニ在ツテハ一割五分ヲ超エルコトヲ得ズト云フコトニナルノデアリマスカラ、サウ云フ所迄ハ上ゲテモ宜イト云フヤウナ認メ方ノヤウニ思ハレルノデアリマス、ソナトガアレバ、是ハドウシテモ委員ガ買受ケテ、地方ノ農業會カ何カガ地料ヲ引上ゲルヤウナコトガ起リハシナイカト、斯ウ考ヘラレルノデアリマスカ、如何デスカ

○國務大臣(和田博雄君) 此ノ九條ノ八ハ、小作料ヲ引上ゲテモ宜イト云フ規定デハ毛頭ナイノデアリマシテ、將來此ノ農作物ノ價格ガ非常ニ下落シタ場合ニ、其ノ小作料ガ茲デ言ヒマスカウニ田ニ於テ二割五分、畑ニ於テハ一割五分ヲ超エル時ニハ減免ノ請求ガ出來ルト、斯ウ云フ規定デアツテ、寧ロ小作人保護ノ規定デアリマス、地主ノ方デ田ハ二割五分、畑ハ一割五分迄上ゲラレルト云フ、斯ウ云フ趣旨デハナイノデアリマス

○菅澤重雄君 是ハ下ツタ時ノ場合デスネ

○國務大臣(和田博雄君) サウデゴザイマス

○菅澤重雄君 農家ハ今度ハ米ガ下ル番ダトカ、農作物ノ下ル番ダトカ云フヤウナ、前途ヲ憂慮シテ居ル農民モアルノデ、勢ヒ此ノ二重價格ナドモ、政府ハ何十億ト云フモノヲ何處迄モ、大藏省モ出スコトハ承諾ガ出來ナイト思フカラ、米麥ノ價格ハ必ズ下ルモノト、斯ウ云フヤウナ場合ヲ豫想シテ、ドウシテモ、今五圓ヤ三圓ノ安イ地料デアツテ居ル者ハ買フコトノ希望ヲ持タナイラシイノデスガ、其ノ時ノコトモ考慮シナケレバナラヌト思フノデ、此ノ貸賃價格ナドハ大藏省デ定メルト思フノデス

ガ、其ノ場合ニ農林省ハ矢張り農林省トシテノ立場カラ、大藏省ヲ製肘スル譯ニハ行キマスマイケレドモ、餘程今ヨリ考慮シテ置カナイト、ソナ場合ガ起リハセヌカト考ヘラレルノデス、尙此ノ自作農創設特別措置法案ノ命令事項ノ中ニ、斯ウ云フコトガアリマス、農業組合トカ養蠶組合トカ云フヤウナモノガ桑畑ノヤウナモノヲ團體デ耕作スル見込デ、土地ヲサウ云フヤウナ場合ニ買受ケテ經營シテ差支ナイノデアリマスカ、例ヘバ養蠶組合トカ、實行組合デス、ソレハ差支ナイノデスカ

○政府委員(山添利作君) ソレハサウ云フコトデゴザイマスレバ、差支アリマセス

○菅澤重雄君 不在地主ト云フモノハ一町歩ヲ限ツテ持テルヤウニ或所ニハアルヤウニモ考ヘラレマスカ、是ハ不在地主ハ絶對ニ持テマセヌノデスカ

○政府委員(山添利作君) ソレハ「ゼロ」デス

○菅澤重雄君 一町モ持テナイ……

○政府委員(山添利作君) サウデス

○菅澤重雄君 私ハ宜シウゴザイマス

○委員長(男爵稻田昌植君) ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會ヲ致シマス、明日ハ午前十時カラ開會ヲ致シマス

午後三時五十四分散會
出席者左ノ如シ

- 委員長 男爵稻田 昌植君
- 副委員長 子爵北條 篤八君
- 委員 公爵島津 忠承君
- 侯爵細川 護立君
- 侯爵中山 輔親君
- 伯爵久松 定武君
- 子爵安藤 信昭君

- 國務大臣 和田 博雄君
- 農林大臣 山添 利作君
- 政府委員 同
- 農林事務官 笹山茂太郎君
- 子爵三島 通陽君
- 子爵土屋 尹直君
- 子爵井上 勝英君
- 牧野 英一君
- 松村眞一郎君
- 寺尾 博君
- 男爵内海 勝二君
- 男爵岩村 一木君
- 男爵毛利 元良君
- 男爵多久 龍三郎君
- 赤木 正雄君
- 竹下 豐次君
- 我妻 榮君
- 松尾 國松君
- 菅澤 重雄君
- 原田 讓二君

昭和二十一年十一月一日印刷

昭和二十一年十一月二日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局